

三浦工業株式会社

# 決算説明及び業績予想 ミウラの成長戦略

開催日：2018年11月19日(月)

熱・水・環境のベストパートナー

代表取締役 社長執行役員CEO 宮内 大介



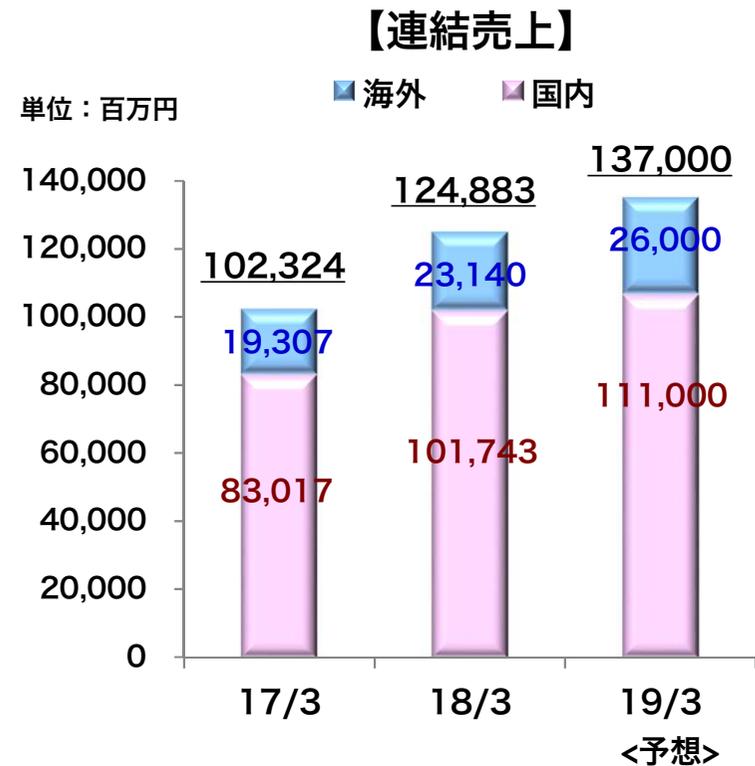
# 1. 会社概要

---

# 1 会社概要



**社名** 三浦工業株式会社  
**所在地** 愛媛県松山市堀江町7番地  
**設立** 1959年5月  
**ミウラグループ** 国内11社、海外15社  
 (三浦工業含む) ※2018年9月30日現在  
**従業員** グループ 5,700名  
 (うち海外 1,648名)  
**事業内容** 機器販売事業  
 メンテナンス事業  
**格付情報** 発行体格付 A (維持) 2018年10月公表  
 株式会社格付投資情報センター (R&I)



<IFRS>	17年3月期 実績	18年3月期 実績	19年3月期 計画 (修正)
売上収益 (百万円)	102,324	124,883	137,000
営業利益 (百万円)	12,401	13,868	15,200
税引前利益 (百万円)	12,898	14,183	15,700
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	9,012	10,363	11,300
基本的1株当たり当期利益 (円)	80.08	92.09	100.41

## 2. 2019年3月期第2Q決算の概要

---

### 上期業績

単位：百万円

<IFRS>	17年9月期	18年9月期	増減率
売上収益	55,156	65,632	19.0%
売上原価	32,651	39,913	22.2%
販管費	16,280	18,146	11.5%
その他の収益	416	489	17.5%
その他の費用	31	38	22.6%
営業利益	6,610	8,022	21.4%
税引前利益	6,827	8,310	21.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,712	5,933	25.9%

### 《 概要 》

**過去最高の増収増益を達成**

国内各事業は堅調、海外でボイラ販売が好調

**国内ランドリー事業好調**

インバウンド需要と省力化、自動化への顧客ニーズ

**全海外現地法人で堅調に推移**

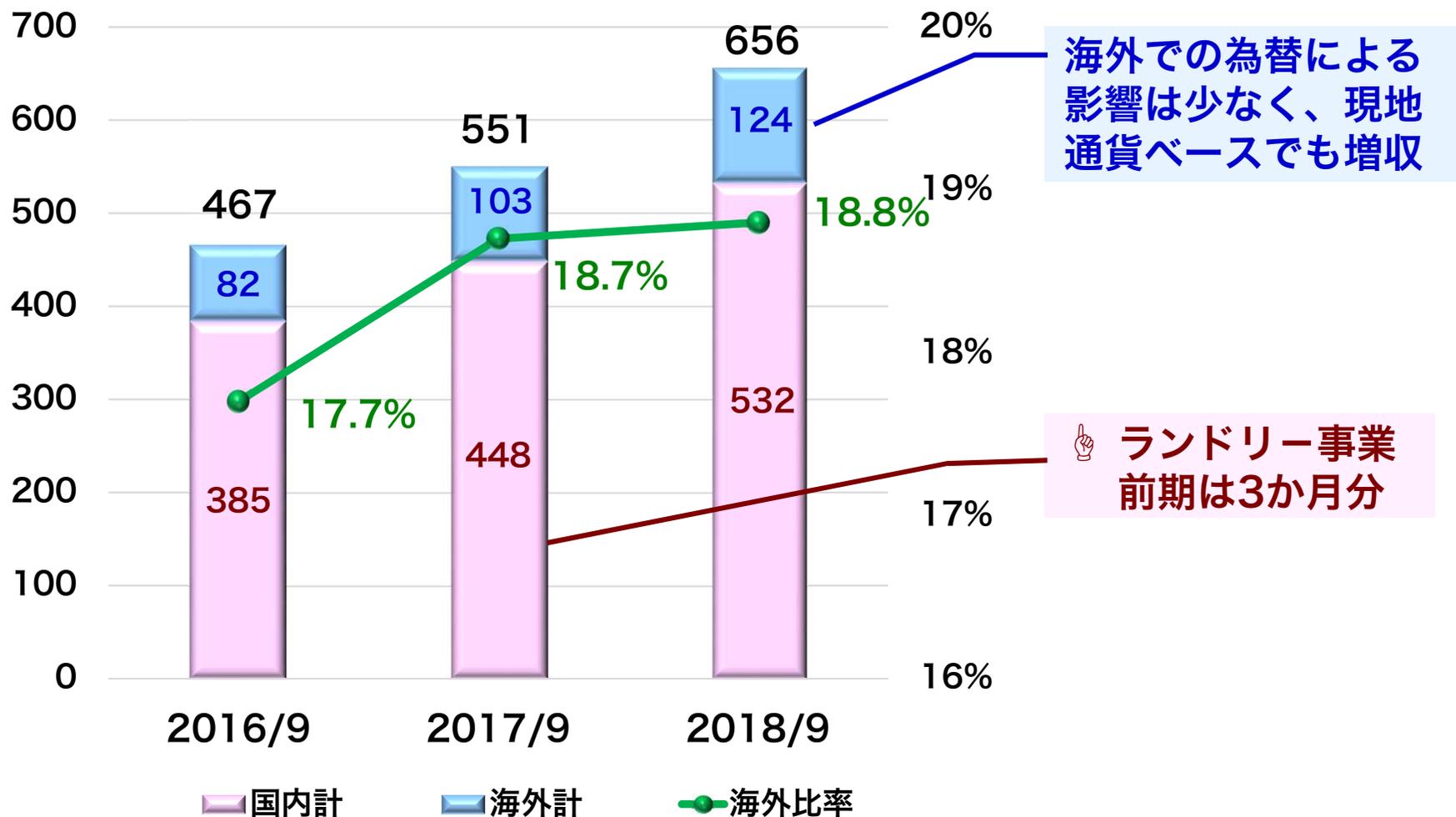
ガス焚きボイラへの入替需要増加

**メンテナンスは国内外とも堅調**

ボイラ設置台数の増加、積極的な有償保守契約取得

## 国内及び海外売上推移（IFRS）

単位：億円

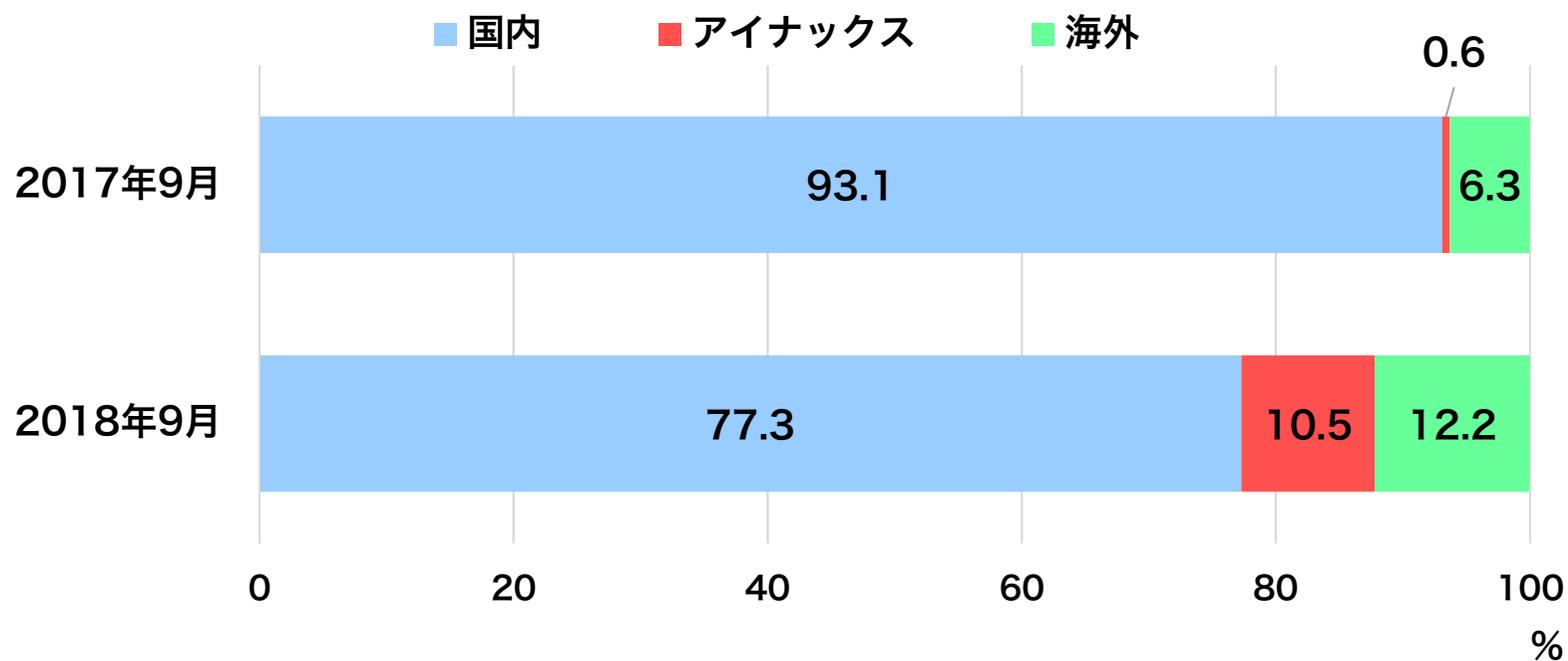


### 計画実績対比

単位：百万円

2019年3月期 第2Q決算	計画	実績	達成率
売上収益	63,500	65,632	103%
営業利益	7,000	8,022	115%
税引前利益	7,100	8,310	117%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5,000	5,933	119%

### 営業利益構成比



### 上期計画との対比

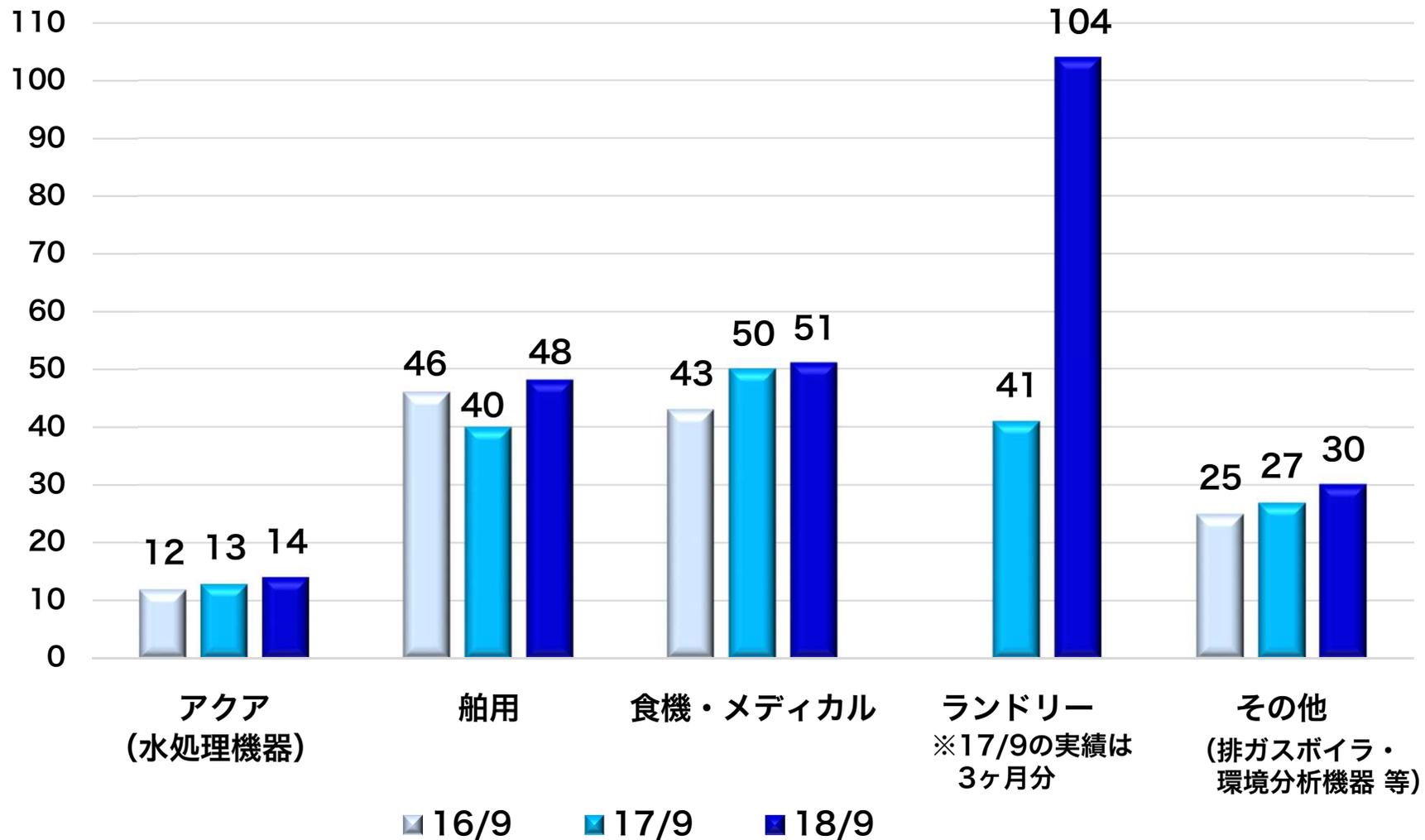
単位：億円

上期		2017年度 実績	2018年度 計画	2018年度 実績	差額 実績－計画
国内	ボイラ	277	280	285	5
	アクア (水処理機器)	13	16	14	-2
	船用	40	42	48	6
	食機・メディカル	50	50	51	1
	ランドリー	41	80	104	24
	その他 (特機・新事業開発・環境 等)	27	32	30	-2
小 計		448	500	532	32
海外	米州 (アメリカ・カナダ・ブラジル・メキシコ※)	17	21	24	3
	韓国	35	33	36	3
	中国	35	61	42	-19
	アセアン・台湾	16	20	22	2
	小 計	103	135	124	-11
合 計		551	635	656	21

※2018年9月期よりメキシコ連結

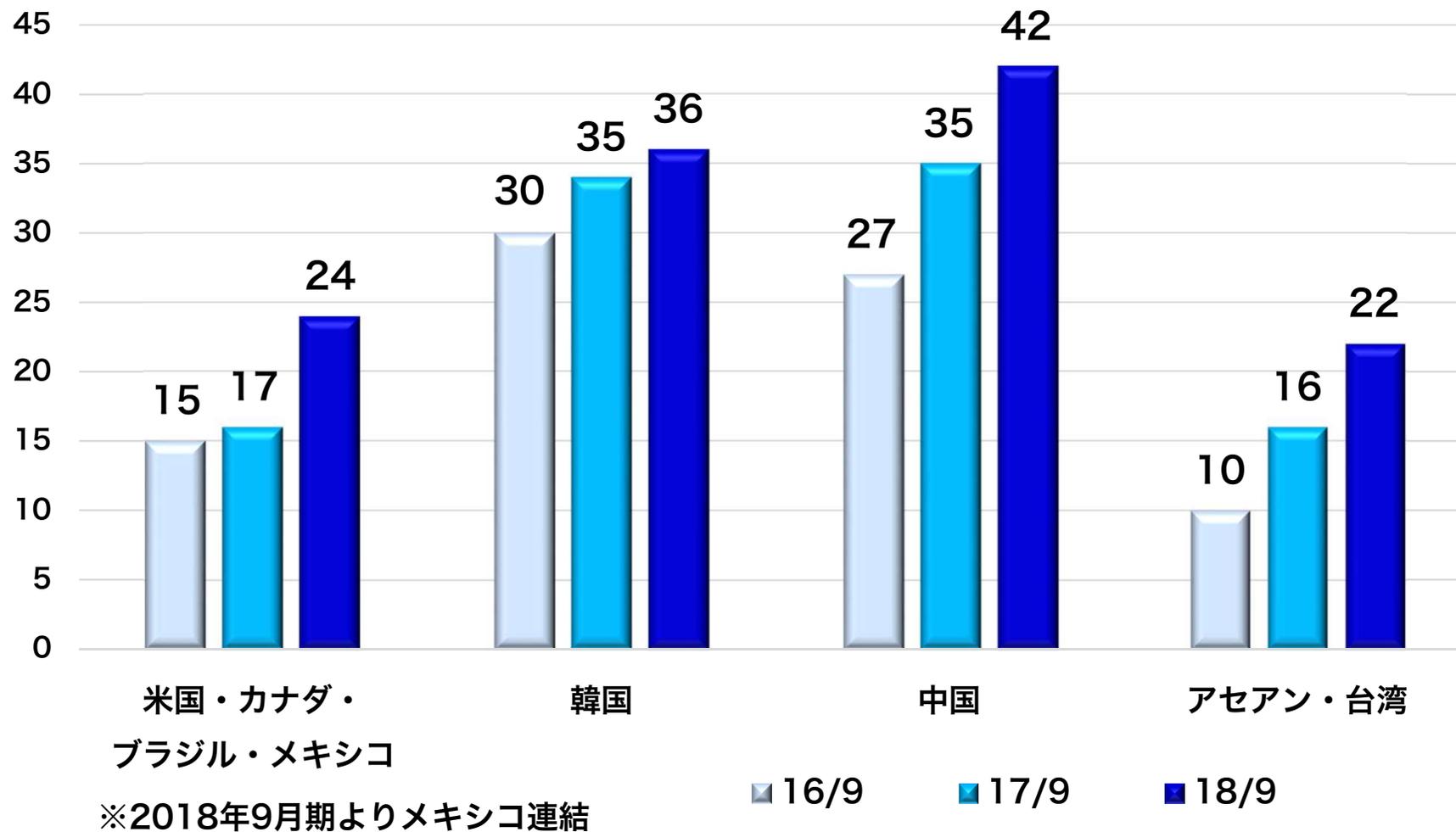
## 国内売上の状況

単位：億円

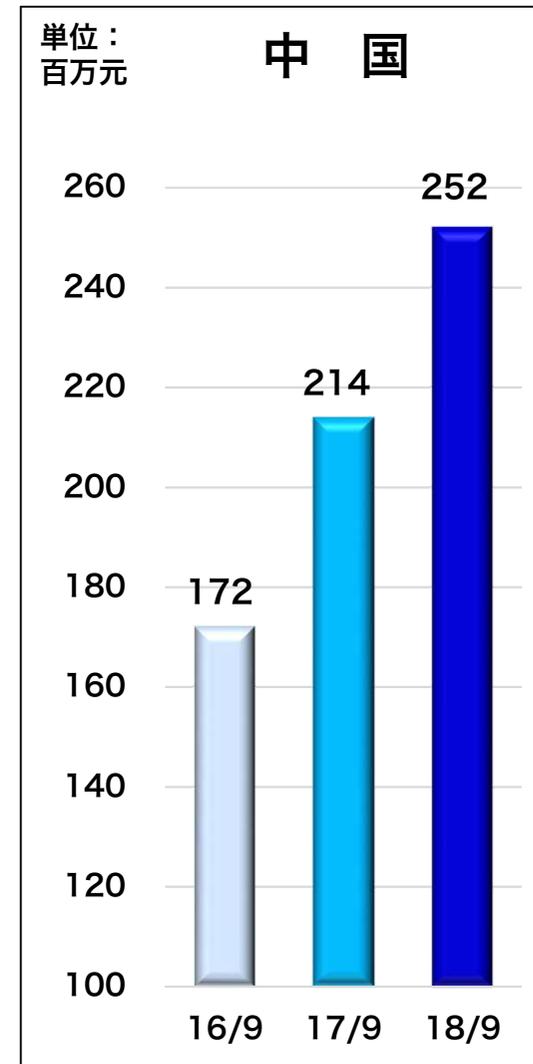
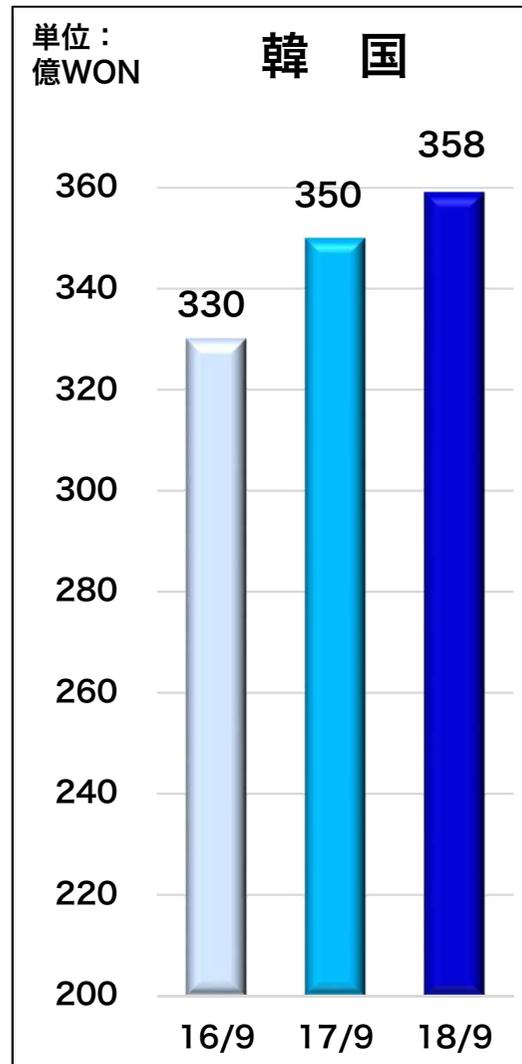
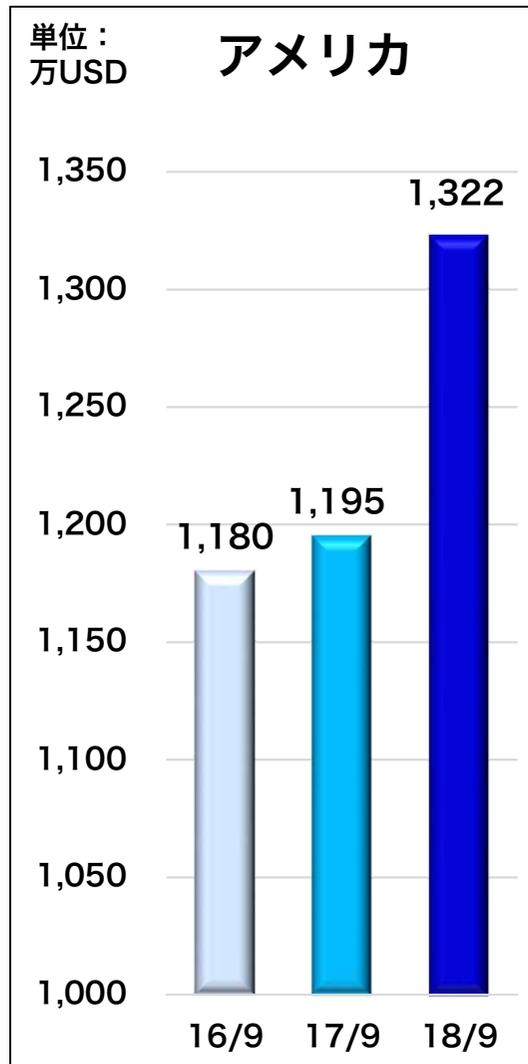


## 海外売上の状況

単位：億円



## 主な海外売上の状況 (現地通貨ベース)



### 海外売上増加要因分析

海外での為替による影響は少なく、  
現地通貨ベースでも増収

単位：億円



為替 (平均レート)	2017年度	2018年度	増減率	2018年度計画
USD	111.04	110.26	- 0.7%	105.00
CAD	85.58	84.87	- 0.8%	82.00
元	16.42	16.74	2.0%	16.40
WON (100W)	9.83	10.04	2.1%	9.60
ルピア (100Rp)	0.84	0.78	- 7.6%	0.80
台湾ドル	3.67	3.65	- 0.5%	3.50
ブラジルリアル	34.83	29.27	- 16.0%	32.00
メキシコペソ	6.11	5.75	-5.9%	5.75
タイバーツ	3.28	3.40	3.7%	3.20

### 2018年度 年間計画の修正

単位：億円

		2017年度 実績	2018年度 計画	2018年度 (修正後)	差額
国内	ボイラ	588	594	609	+15
	アクア(水処理機器)	29	35	35	
	船用	86	90	100	+10
	食機・メディカル	104	106	106	
	ランドリー	139	170	190	+20
	その他(特機・新事業開発・環境等)	71	70	70	
小計		1,017	1,065	1,110	+45
海外	米州(アメリカ・カナダ・ブラジル)	44	45	45	
	韓国	69	70	70	
	中国	83	130	100	-30
	アセアン・台湾	35	40	45	+5
	小計	231	285	260	-25
合計		1,248	1,350	1,370	+20

## 3. 利益配分、株式の状況

---

① **安定的な配当の継続**

② **連結配当性向30%を目処**



18年3月期

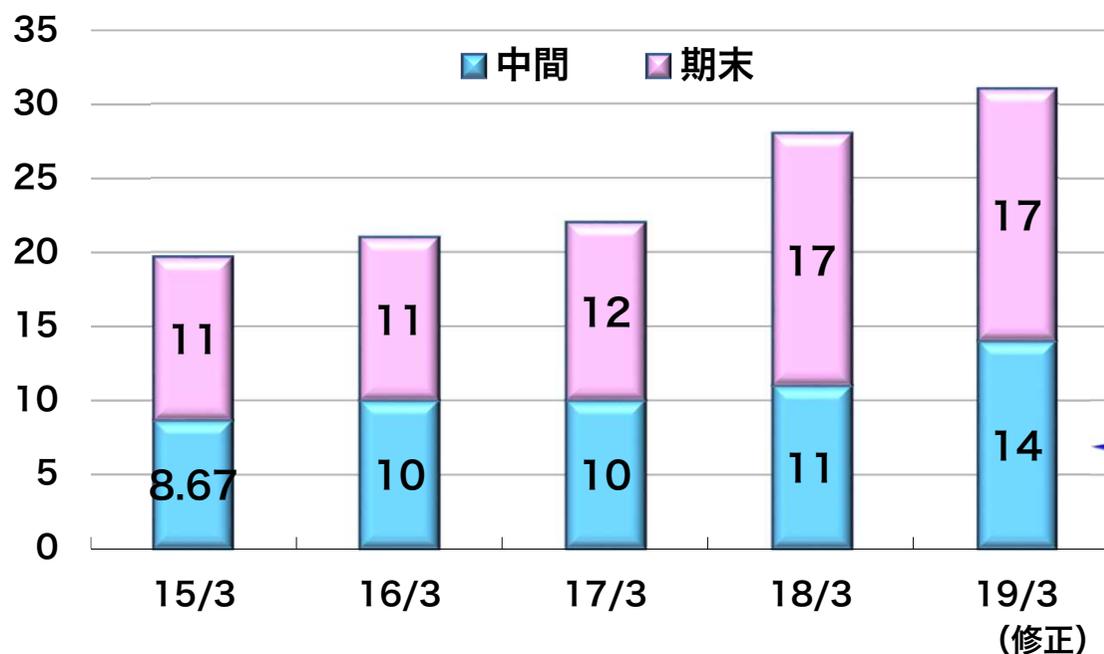
中間 11円  
 期末 17円  
 合計 28円

19年3月期

中間 14円 (修正)  
 期末 17円  
 合計 31円 を予想

単位：円

【1株配当金の推移】



(ご参考)

自己株式の保有状況

※ 2018年9月30日時点

- ・発行済株式総数 (自己株式除く)  
112,574,546 株
- ・自己株式数  
12,716,566 株

3円増配

三浦工業株式会社

# 決算説明及び業績予想

## ミウラの成長戦略 2

開催日：2018年11月19日(月)

熱・水・環境のベストパートナー

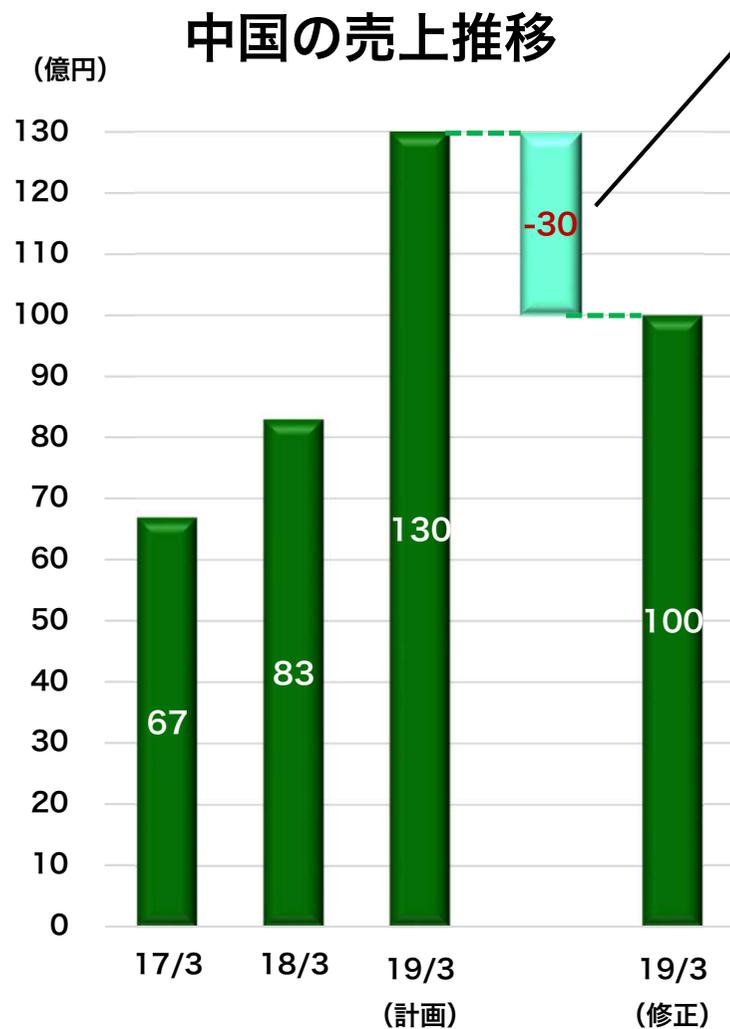
代表取締役 社長執行役員CEO 宮内 大介



# 1. 中国の現状について

---

## 計画値差異の原因



2018年11月5日

今期末の中国売上予想を30億円減の  
100億円に修正

### 差異の原因

- ① **ガス不足**  
大幅な需要拡大
- ② **貿易戦争**  
投資を様子見
- ③ **規制の緩和**  
石炭→木屑焚きボイラへの入替

中国蘇州第2工場は2019年1月着工  
長期的な環境規制の流れに変更なし

## 誤差の発生した背景

中国

米国との貿易戦争

+

環境規制の強化

大気汚染も含め、排水、排気といった作業環境の規制も厳しい

収益が悪化し、経済的打撃が大きかった

経済活動の低迷、景気の悪化感

環境規制を緩める

ガスが足りない地域では石炭焼きボイラ使用禁止を延期

都市部を除き、木屑焼きボイラ廃止の流れが止まった

➡ ガス焼きボイラへの入替延期、中止

結果

➡ 木屑焼きボイラへ入替、採用の増加

## 環境規制の現状

環境規制	エリア	影響	2018年度	2019年度
NOx強化	上海市 華北エリア 山西省	バーナ変更 新型ボイラ		
石炭焼き禁止の延期	東北エリア (大連市)	案件延期		 東北パイプライン が予定通り完成す れば  の可能性 あり
木屑焼き禁止の延期 (2021年まで)	広州市	案件延期		
木屑焼き許可 (石炭→木屑焼きへ入替)	広東省 (参考) 2017年設置台数 ・木屑 500台 ・ガス 450台	負け案件		

## ガス不足

### 東北地方のパイプライン供給スケジュール



- 2019年10月  
北部区間（黒河→長嶺）完成  
年間50億 $m^3$ の供給を開始  
※長春・瀋陽経由で河北・北京へ供給可能性あり  
→各省政府の上申を中央政府が判断

- 2020年12月  
全線竣工し段階的に供給開始

- 2025年  
年間380億 $m^3$ の供給を目指す



注意) 中国側の予定であり、ロシア側の配管完了が遅れると供給も遅れる可能性がある

## 貿易戦争の影響

エリア	業種	影響	2018年度	2019年度
山東省	ゴム 化学工業	廃業による 物件延期、消滅		食品、飼料 ヘシフト 
広東省 福建省	食品	影響なし		 ?
中国全域	ダンボール	影響なし		ベトナム、 インドネ シアへ 

### 山東省での影響



タイヤ業界、化学(ゴム)  
大手企業が密集

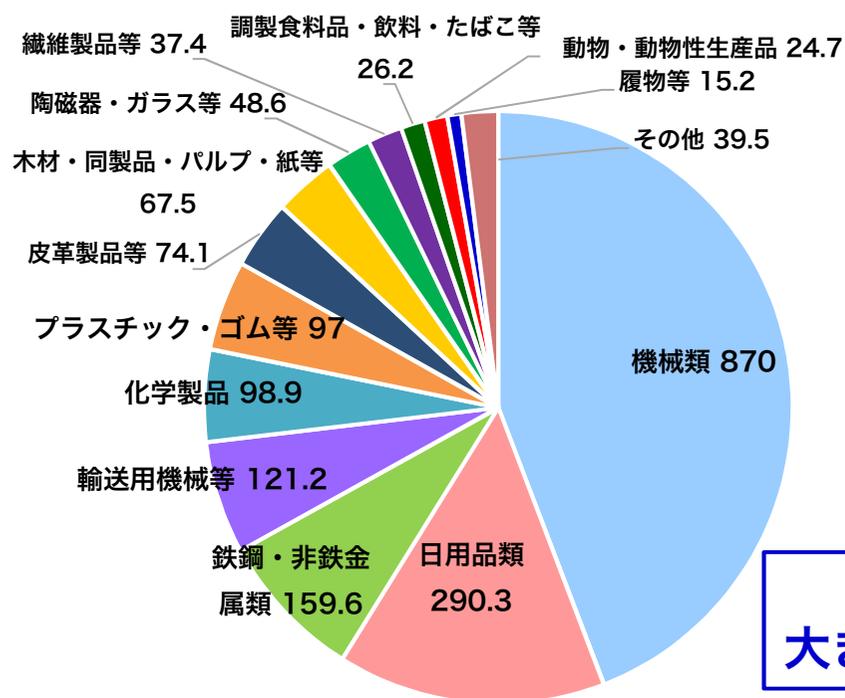
貿易戦争の影響で、  
大手4社のうち2社倒産  
※1社は中国史上最大の負債



関連企業、下請け企業含め  
上期納入予定だった  
約50% (ボイラ台数)  
が延期または消滅

## 貿易戦争の影響

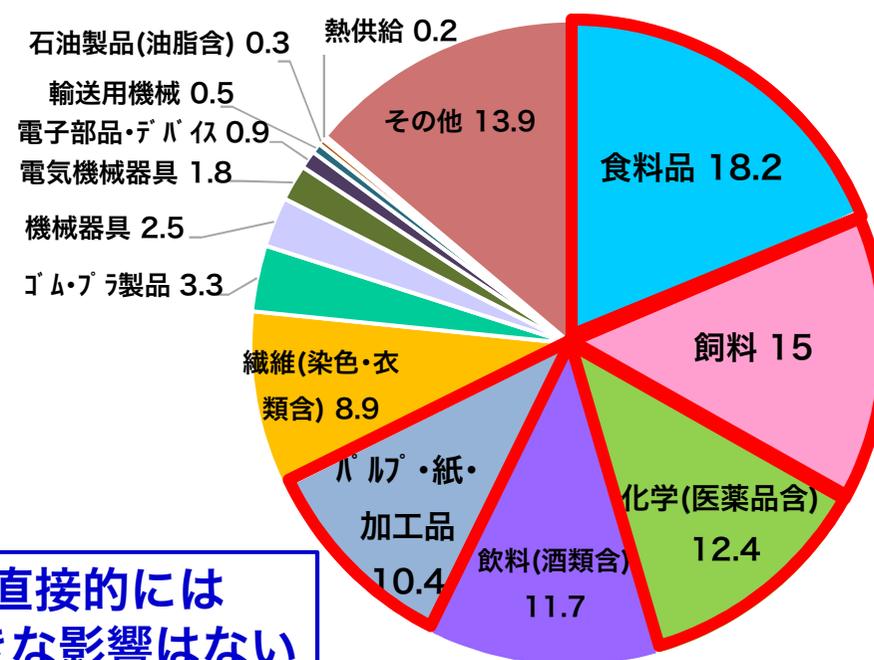
### 米国の301条課税対象品目リスト (7/10発表：2,000億ドル)



### 通商法301条

外国による不公正な貿易慣行に対し、大統領の判断で一方的に関税引き上げなどの制裁措置が取れる

### ボイラ市場での用途割合 (当社調べ)



直接的には  
大きな影響はない

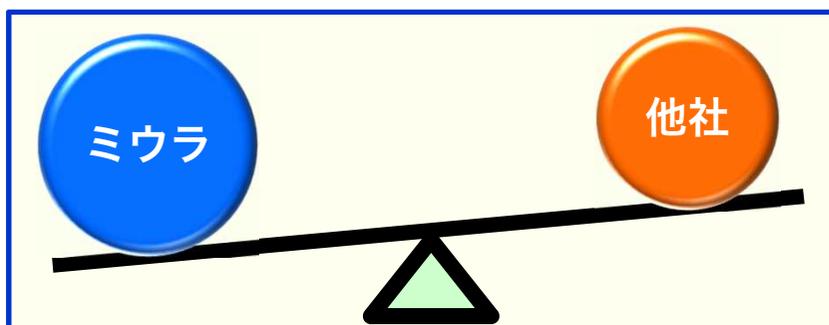
影響を受け難い業種を  
ターゲットとしている

食品・飼料・製薬・ダンボール業界

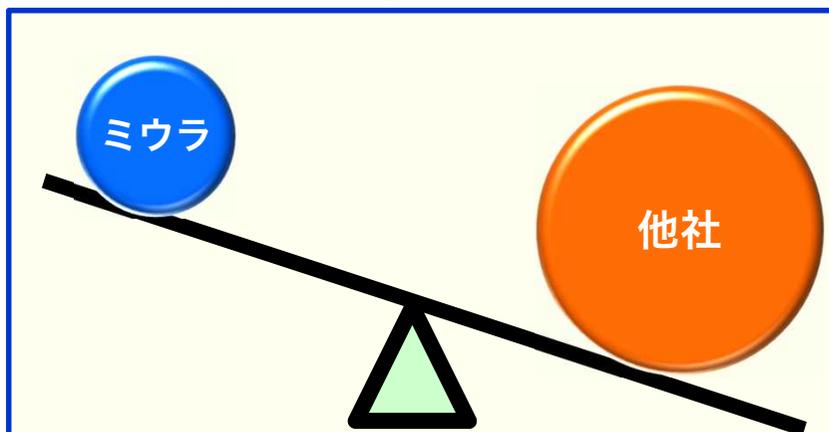
## 価格競争

### 「ライフサイクルコスト」の説明が必要

#### イニシャルコスト



#### ランニングコスト



性能いいけど  
買えないよ…



- 本体
- 施工費

10年20年使うんだから、  
トータルメリットを知って  
もらわなくては



#### 独自の省エネ技術

- 燃料代
- 保守・点検
- 部品・消耗品
- 交換費用
- 故障修理

#### ZMP契約

## 競争の激化

競争の激化で、売上単価が低下



数年間のメンテで回収する

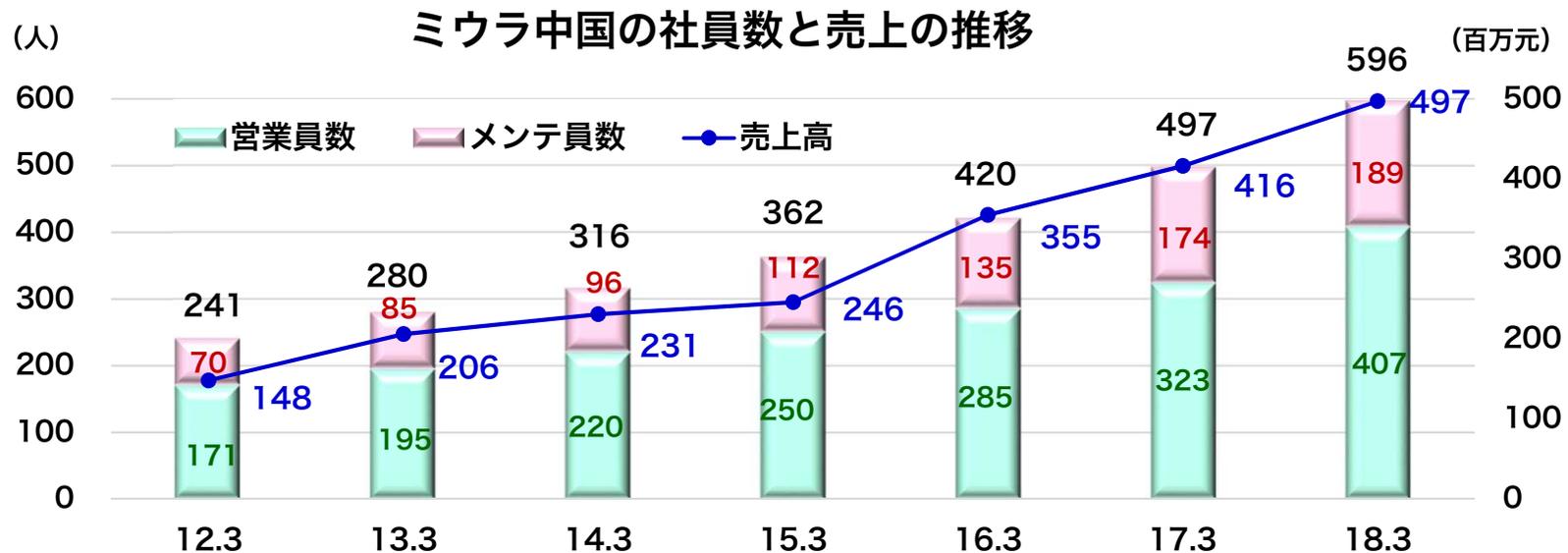
ランニングコストのメリットの訴求

教育

研修センター(200人収容)  
建設予定

営業、メンテ別に集合研修を実施

- ・ 新人営業マンの育成
- ・ ボイラ日誌、負荷分析による提案方法

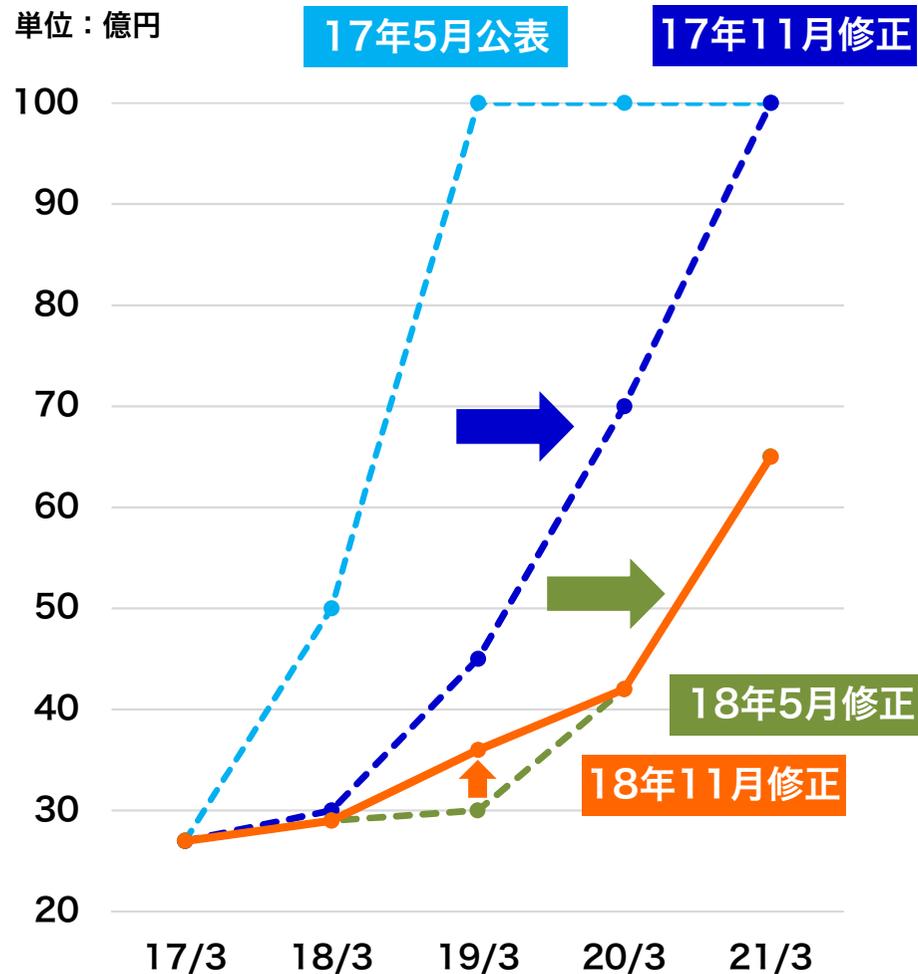


## 2. バラスト事業の進捗状況

---

### バラスト売上予想の修正

単位：億円



### バラスト水処理装置搭載時期の変更

(就航船) 2017年9月以降  
定期検査時

2年延期

(就航船) 2019年9月以降  
定期検査時

### ミウラのUSCG TA取得予定の変更

2018年3月までに取得予定

遅れ

2019年3月までに申請予定

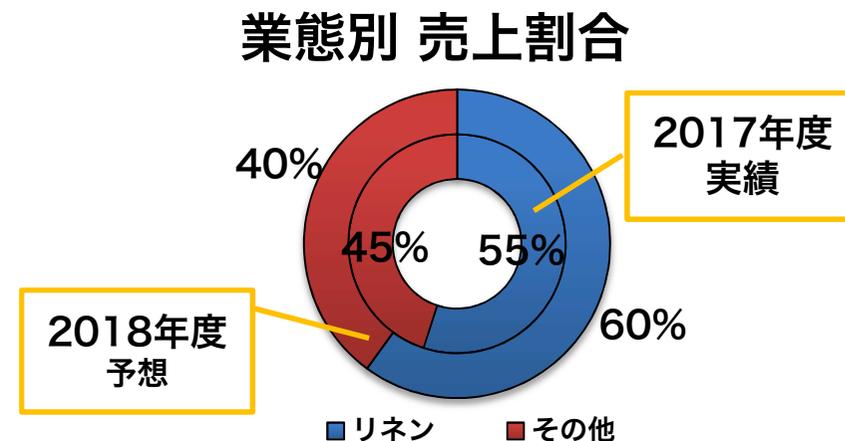
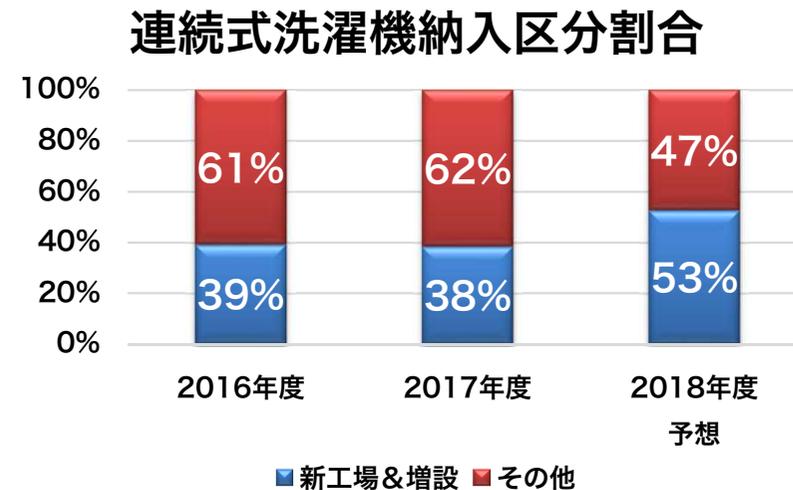
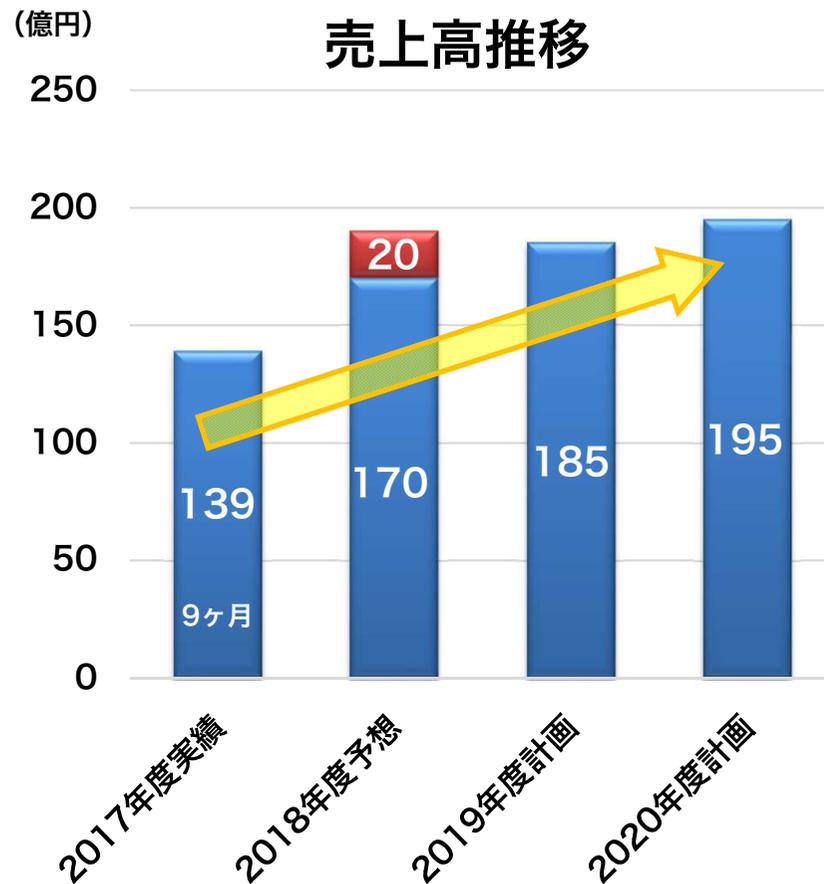
# 3. ランドリー事業の現状と今後の見込み

---

### 3 ランドリー事業の現状と今後の見込み

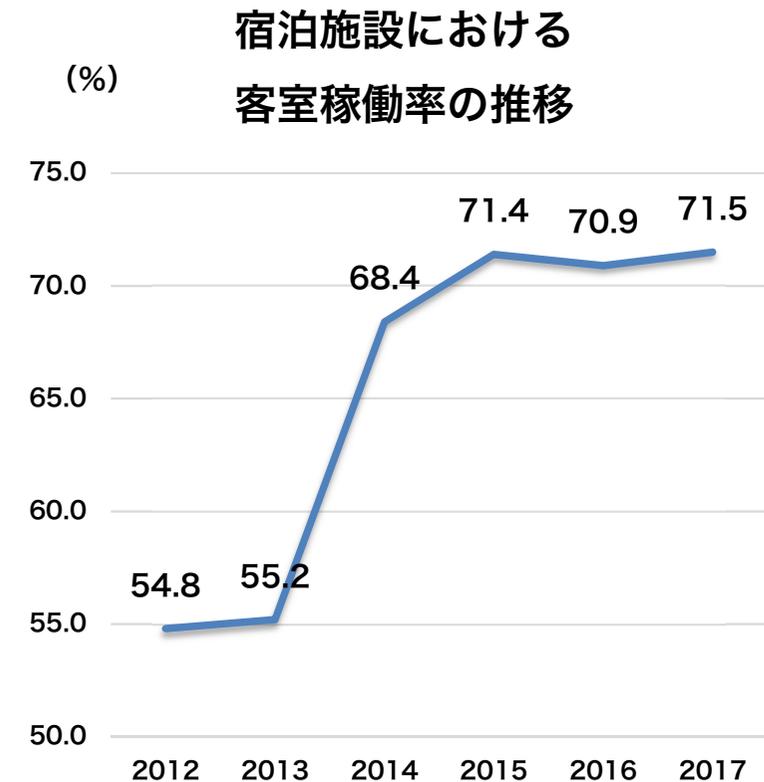
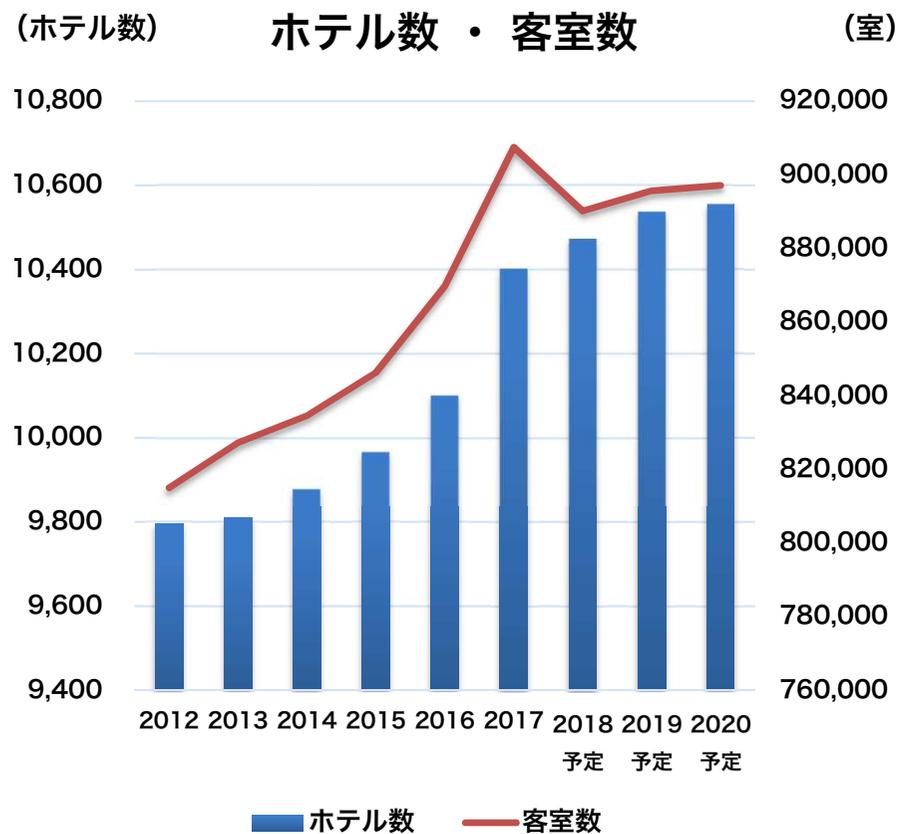
上期 決算期の変更による影響で上期に業績が偏重

下期 底堅いインバウンド需要からリネン工場の引き合い増加



## ホテルリネン 市場動向

- ① ホテル軒数増加&稼働率UP
- ② 高級志向へ（枕/タオル）



出所：厚生労働省「衛生行政報告例」および当社調べ

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」

### <過去・現在>

訪日外国人の増加、客室稼働率高騰により、工場生産量が追い付かない！

生産性を高めるために、老朽化等により生産性の低い設備を高生産・省エネ・省力化を備えた設備に更新し、生産性を向上

### <現在・将来>

高生産体制となっているが・・・

労働環境の改善が遅れ、人材確保に苦慮している工場が増加（3K職場）

少人員で、品質を維持できる働きやすい環境を提供する設備が要望されている

ロール  
仕上げ



省力化

ユニフォーム  
仕上げ



省人化

タオル  
仕上げ



自動化

## 4. 過熱蒸気再生活性炭ろ過装置について ( Jトップ株式会社 )

---

## 業務提携会社の概要

### 【会社概要】

会社名	Jトップ株式会社
所在地	大阪府和泉市箕形町4丁目5番44号
設立	2009年12月
事業内容	環境機器製造販売・エンジニアリング、 環境コンサルティング
代表者	代表取締役社長 仲喜治一 (ナカキ ジイチ)
資本金	80百万円 (2018年10月現在)
従業員数	20名 (2018年10月現在)
主要株主	仲喜治一 (66.7%) 三浦工業 (20.0%) その他株主(13.3%)

### 【主要製品】 活性炭ろ過装置

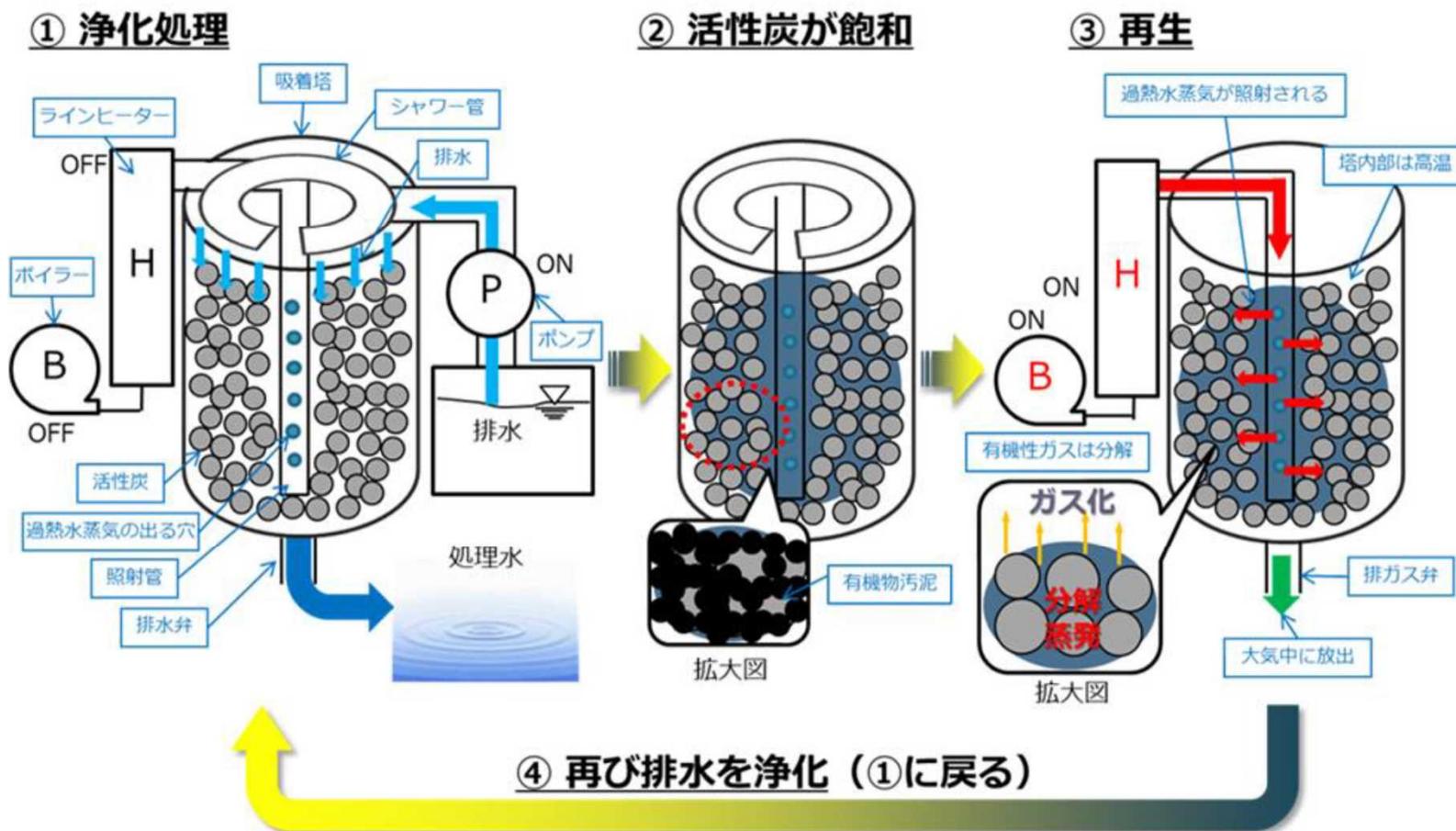


### 【製品の特長】

- オンサイトで過熱蒸気により活性炭を再生する「過熱蒸気再生 活性炭ろ過装置」という特長ある製品
- 有機物低減・濃縮減容が可能で浄水処理、排水処理、リユースなど様々な分野で使える可能性があります。また、蒸気を使うという面でも三浦グループ商品と繋がりがあり、トータルソリューションを担うひとつの製品

## 過熱蒸気再生 活性炭ろ過装置

### 製品の特長

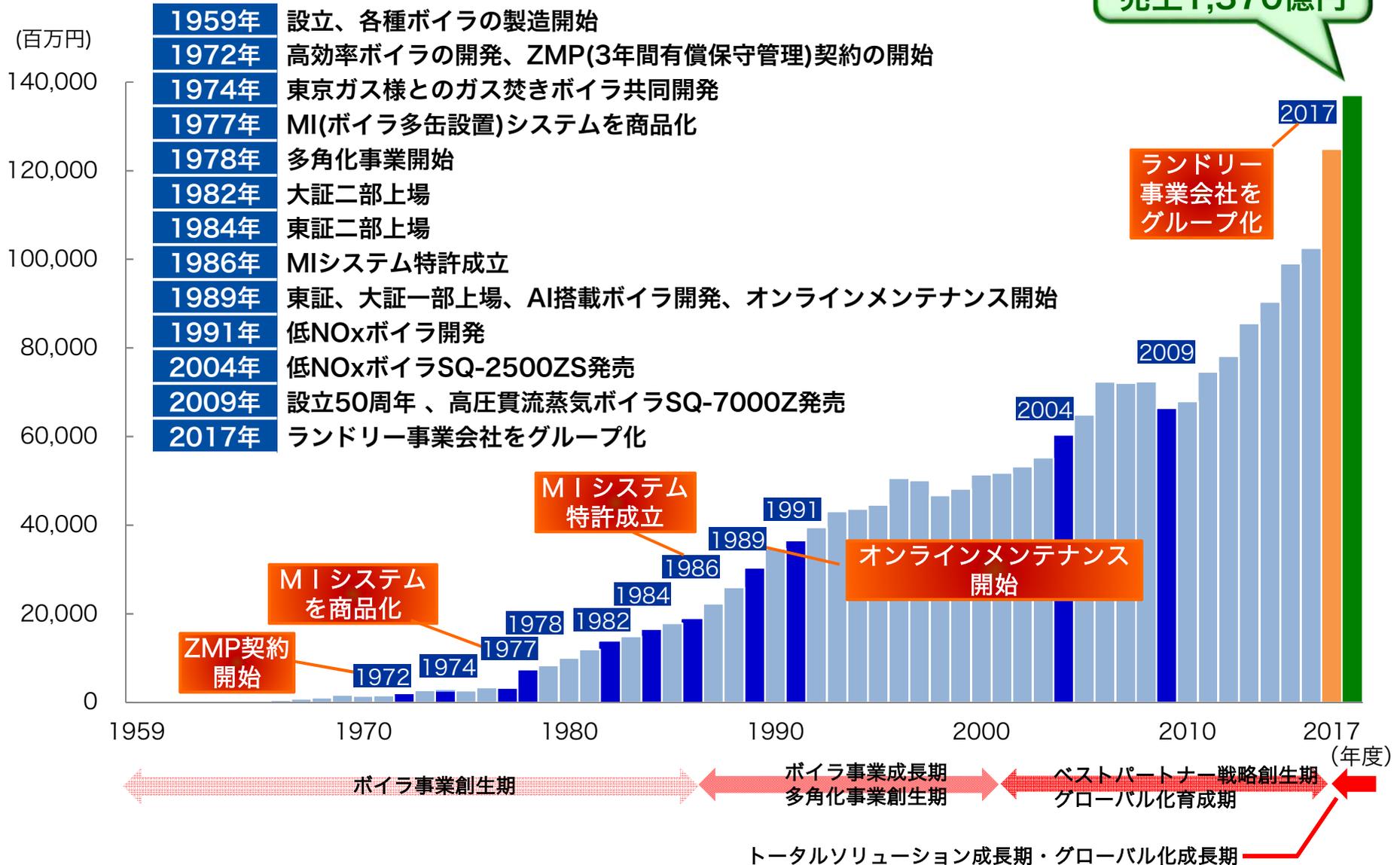


# 参考資料

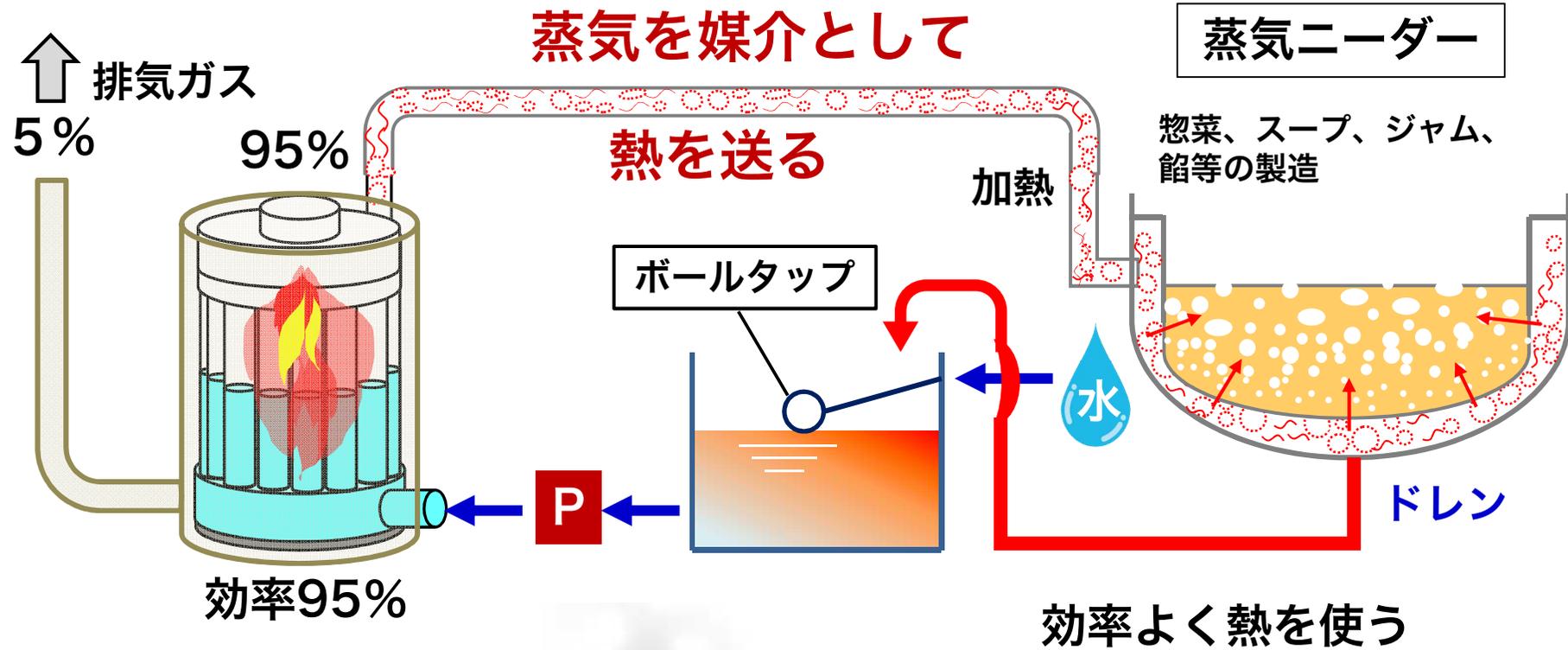


## 業績の推移、沿革

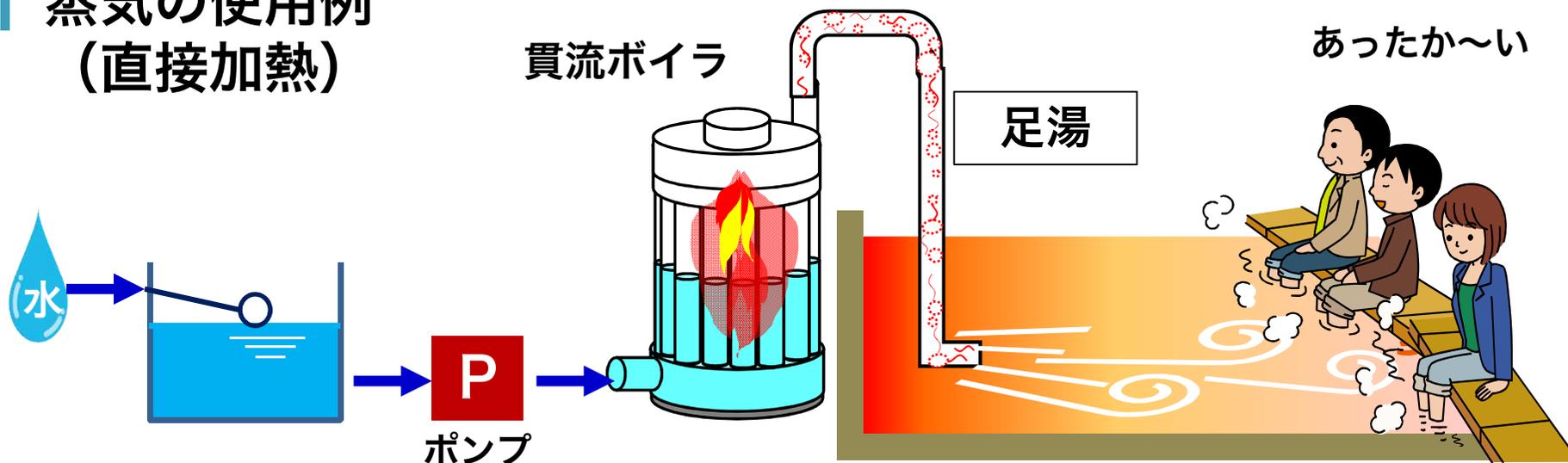
2018年度計画  
売上1,370億円



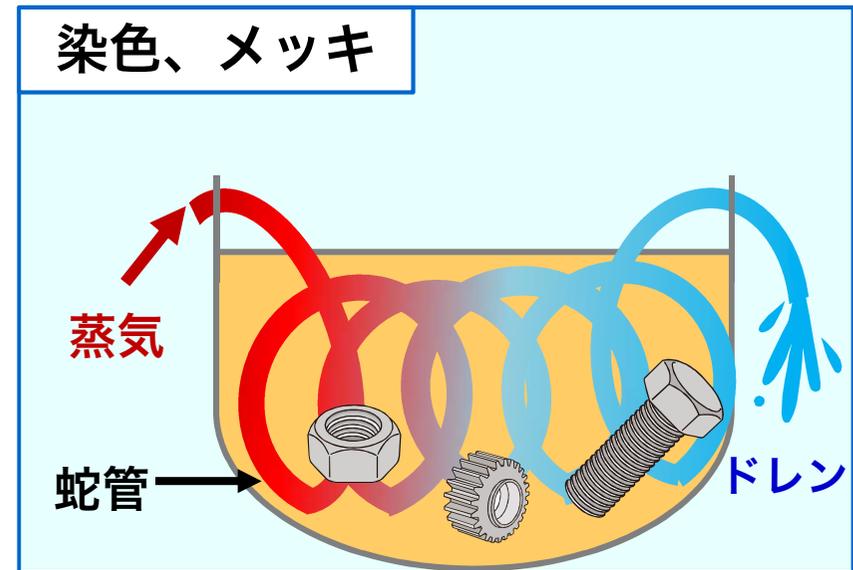
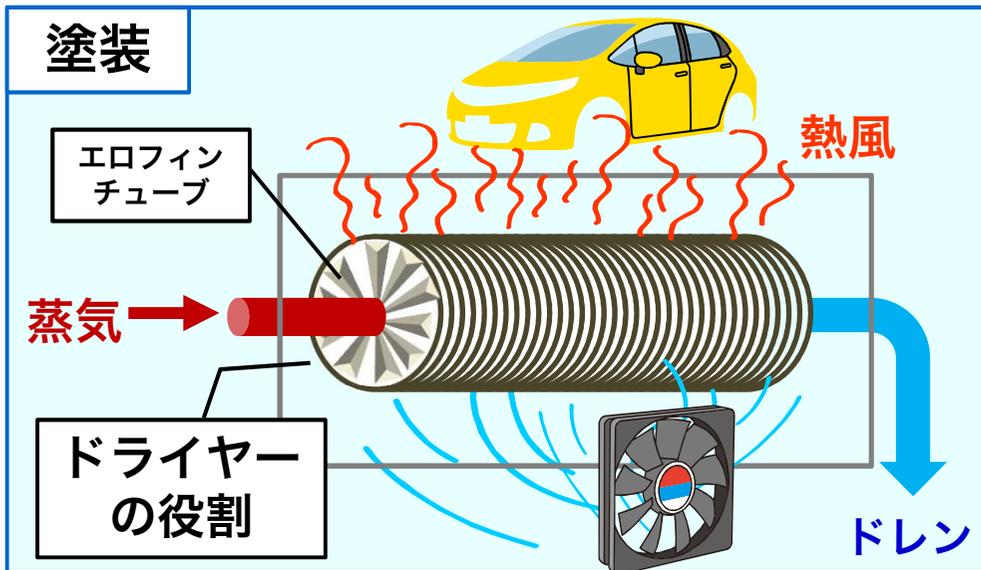
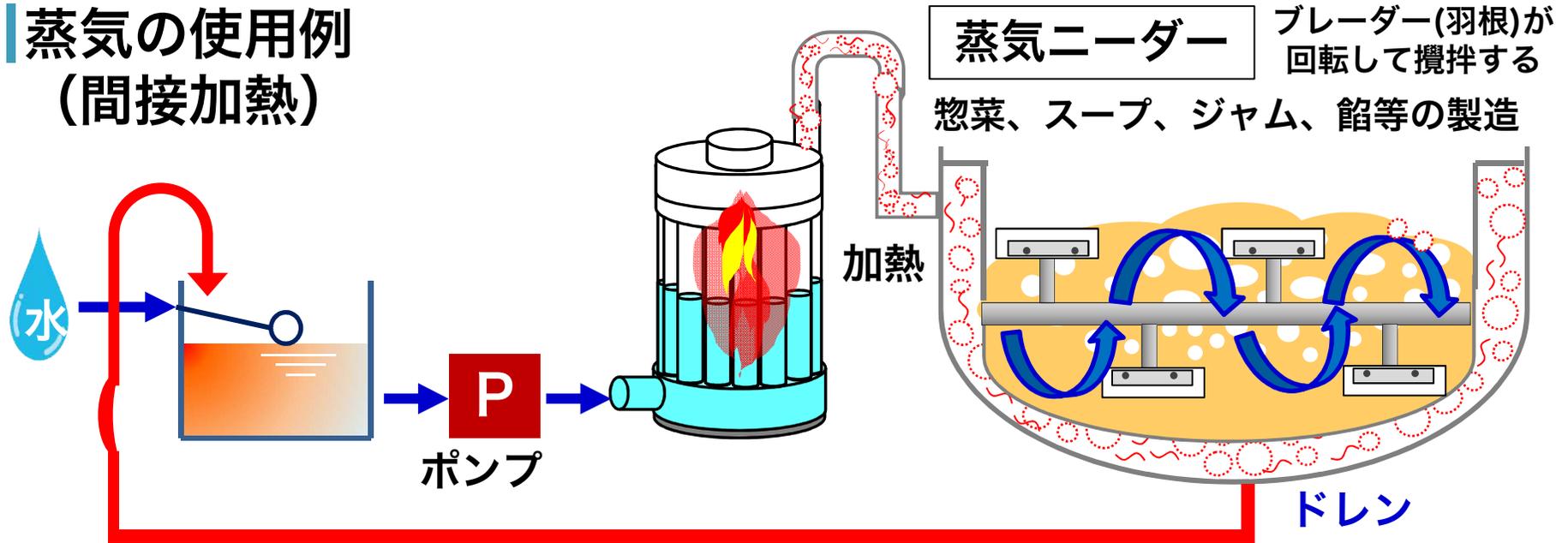
# なぜ「蒸気」なのか？



## 蒸気の使用例 (直接加熱)

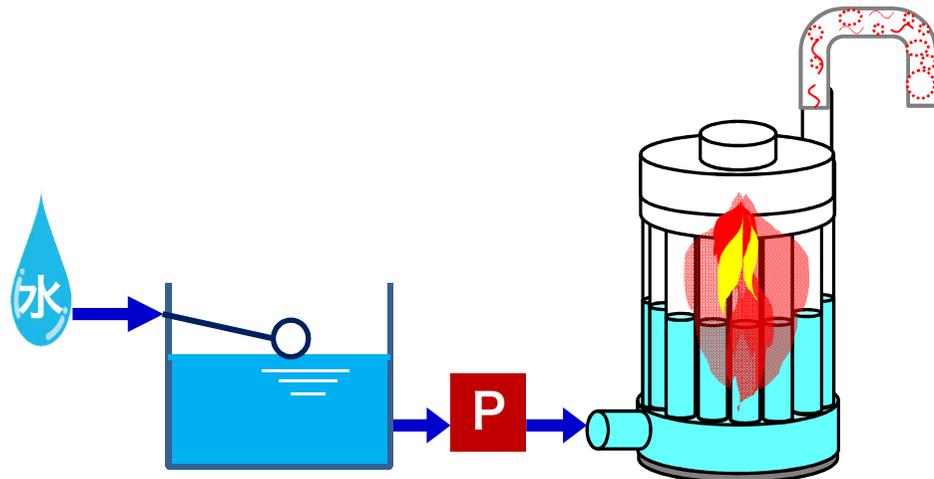


## 蒸気の使用例 (間接加熱)



# 蒸気ボイラは管理が必要

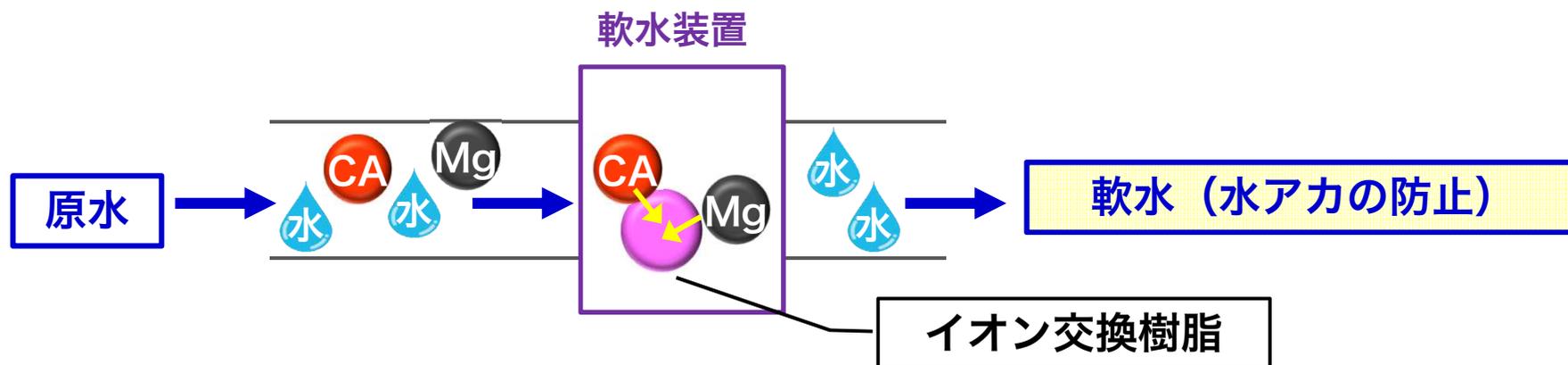
## ボイラの大敵



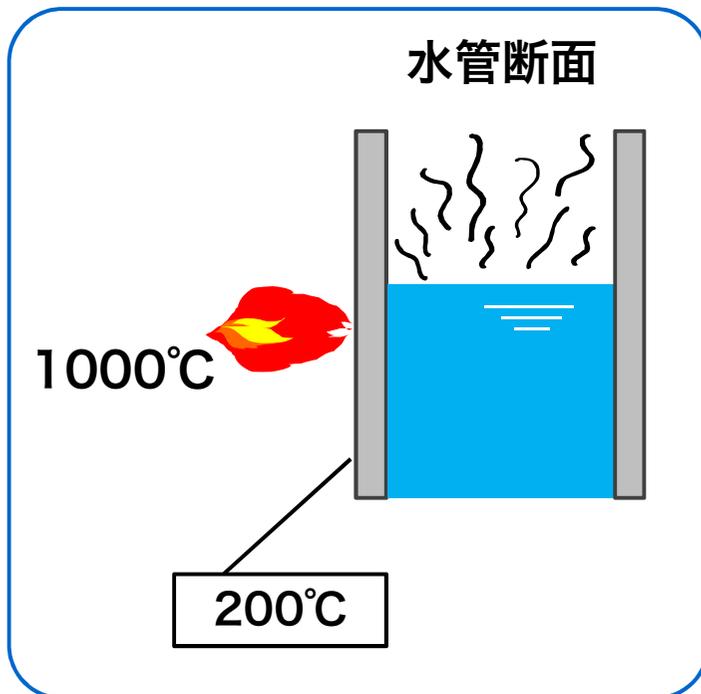
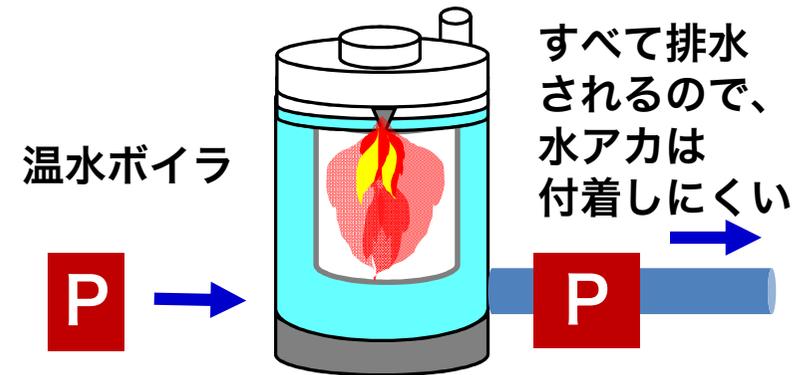
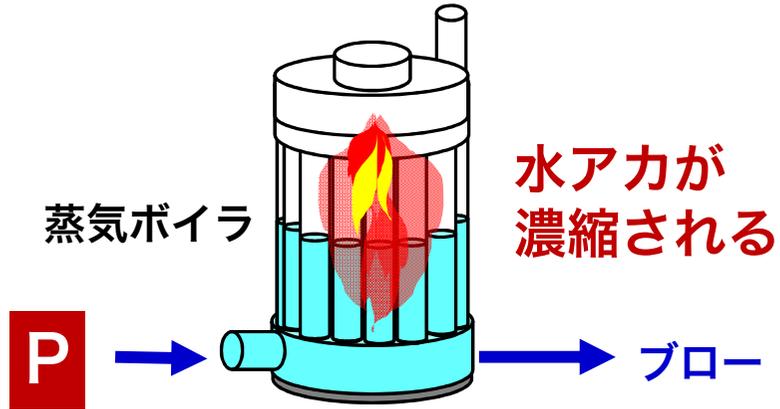
① 腐食 → 缶体に穴が開く  
→ 溶存酸素の除去 → DOR



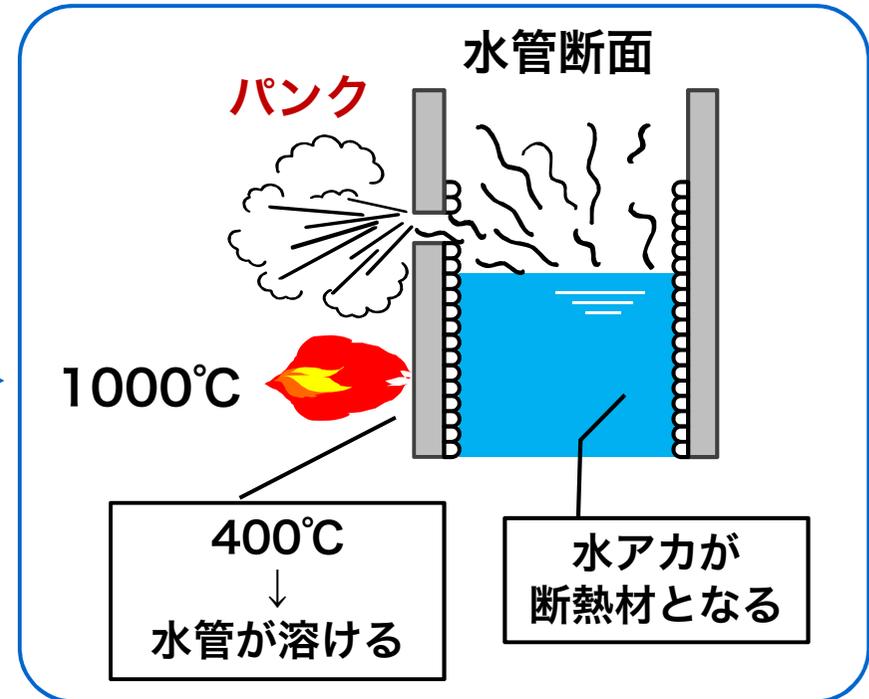
② 水アカ → ボイラ効率の低下や水管の破裂 → 軟水装置



# 蒸気ボイラは管理が必要



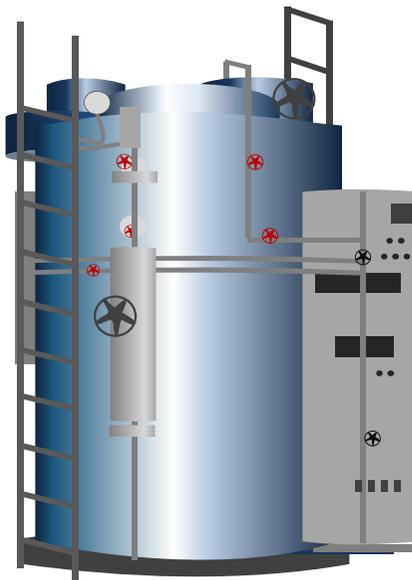
水アカが付着すると



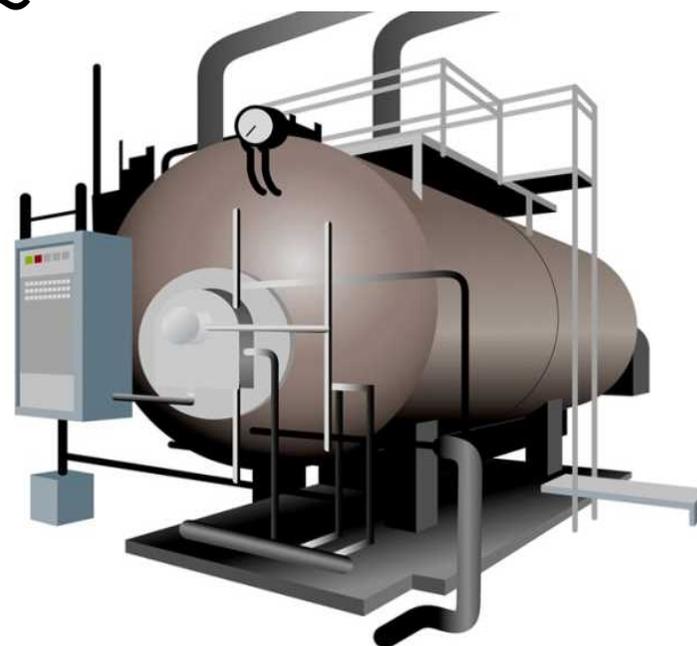
ボイラの種類 ～ 同容量のボイラ比較 ～



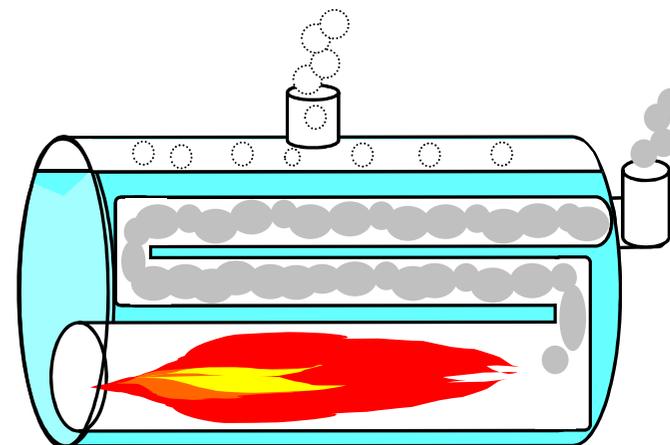
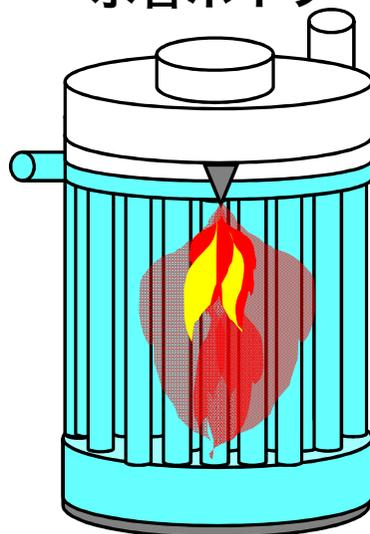
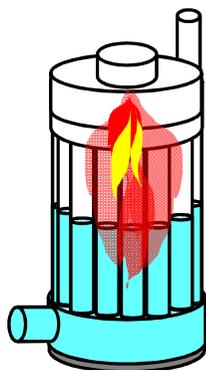
貫流ボイラ



水管ボイラ



炉筒煙管ボイラ

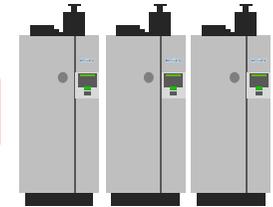


ミウラのMIシステム (Multiple Installation system) とは  
必要時に必要なだけの蒸気量を供給し、エネルギーコスト低減やCO<sub>2</sub>、  
NOx等の排出量削減に繋げる

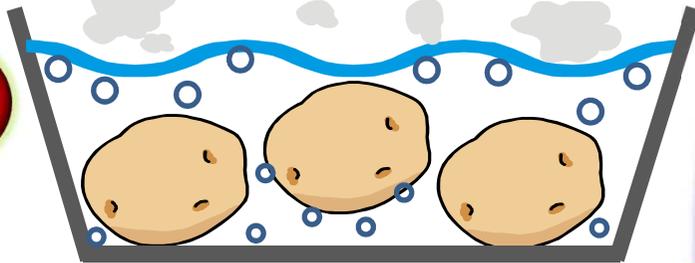
大きなボイラ1台



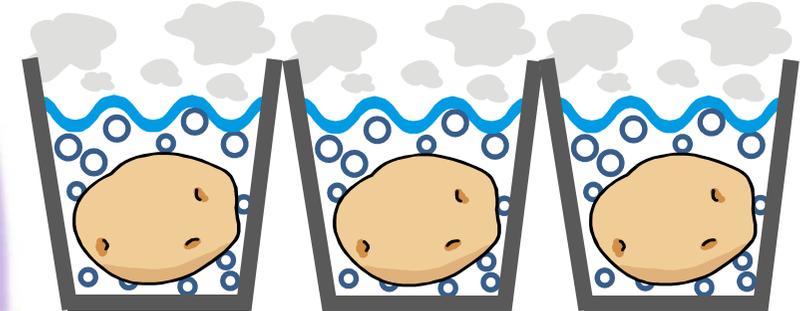
小さなボイラを複数台



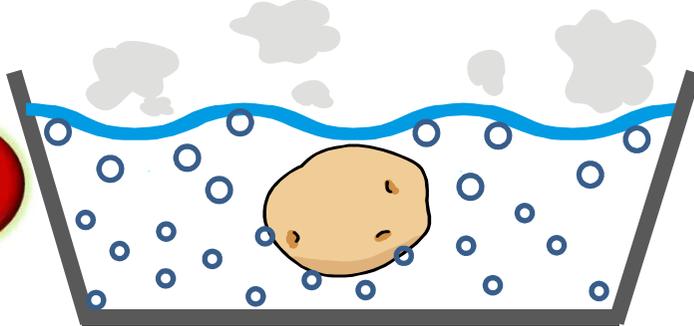
3個



なぜMIシステムは  
効率的なのか？



1個



ポテトが減ってもお湯の量は減らない

省エネ化

省スペース化

ポテトが減ればお湯の量は少なくなる

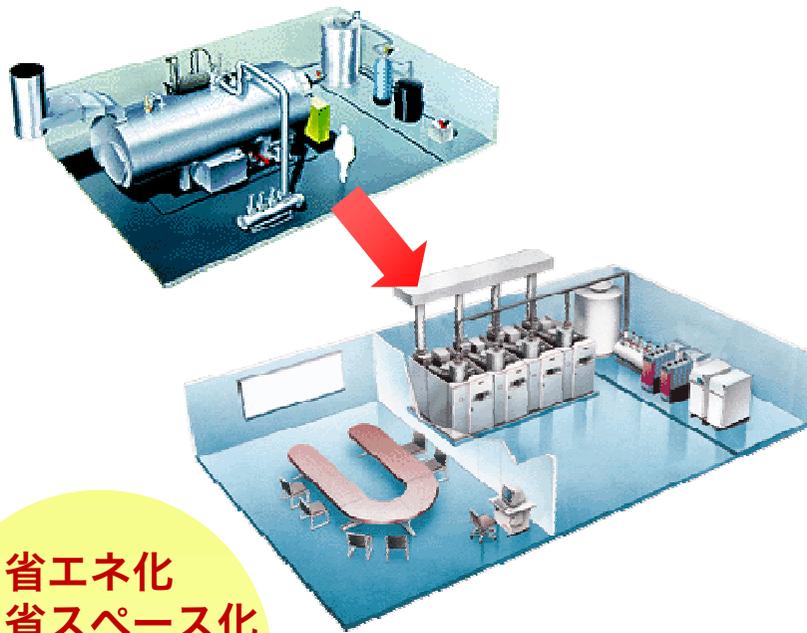
省力化

低公害化

## 1986年 ボイラ多缶設置 (MI) システム特許成立

**MIシステム** (Multiple Installation system) とは

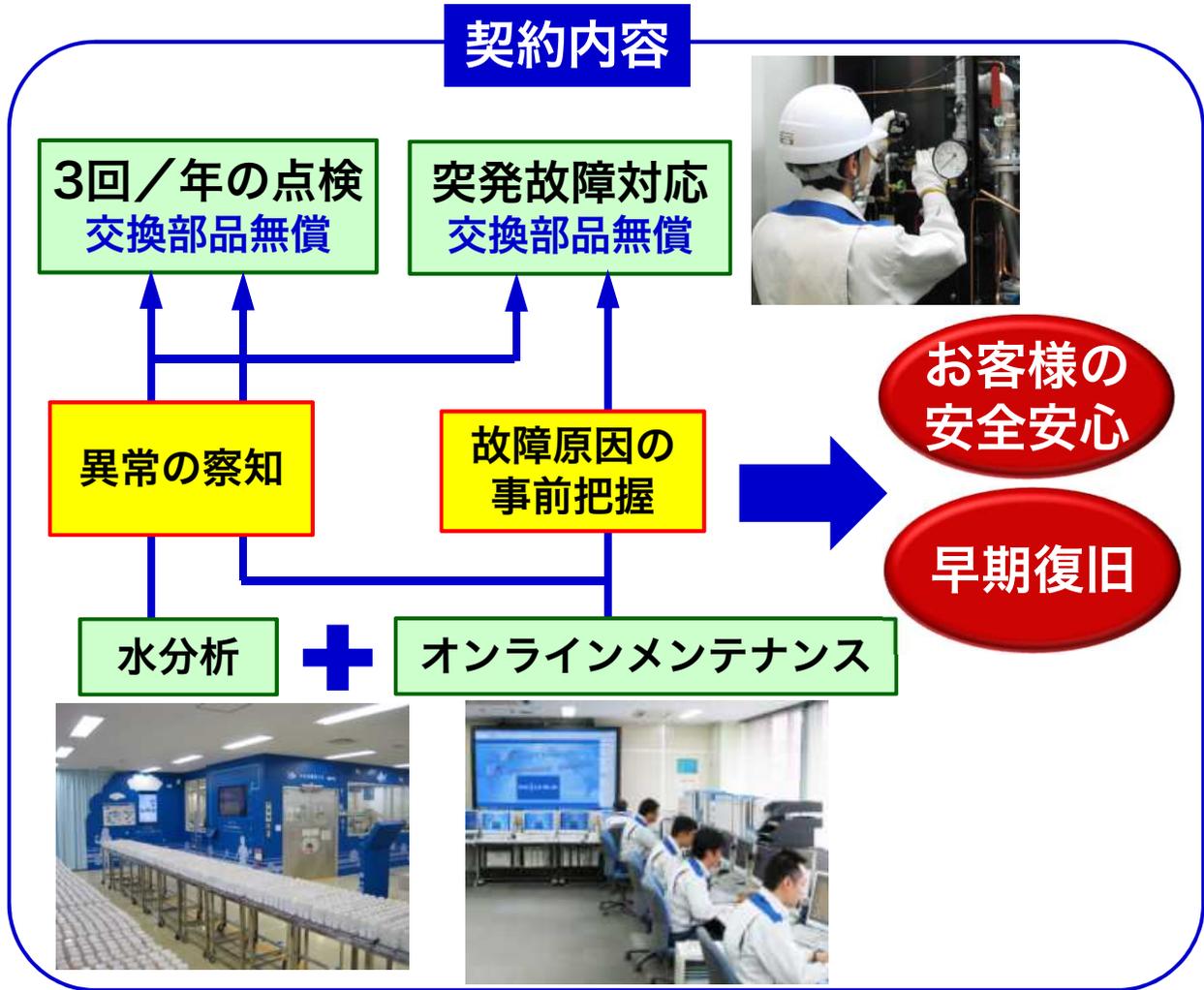
小型貫流ボイラの特徴を活かした画期的な省エネルギーシステム



- 省エネ化
- 省スペース化
- 省力化
- 低公害化

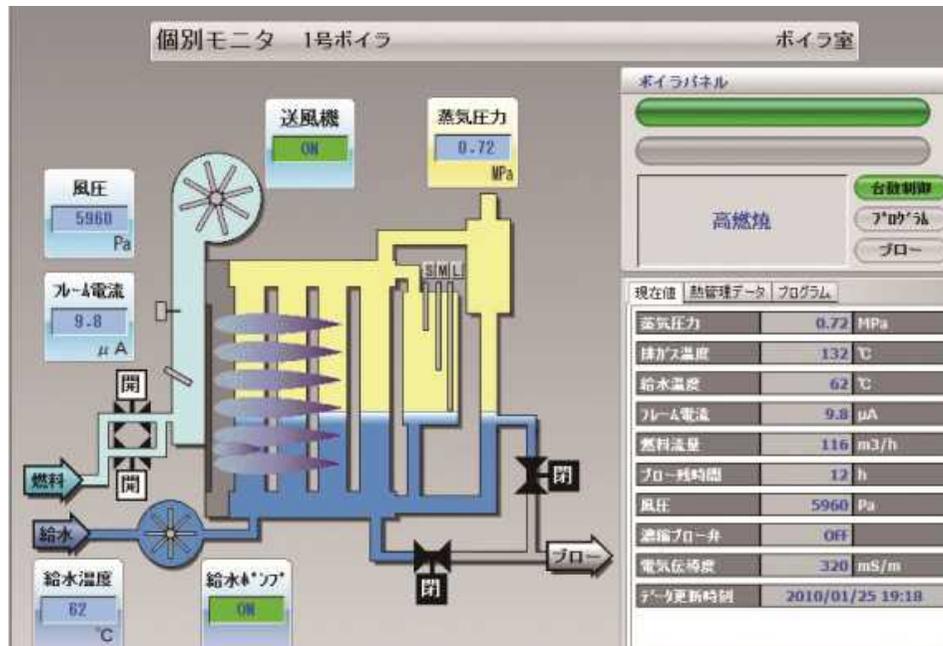
必要な時に必要なだけの蒸気量を供給し、エネルギーコストの低減やCO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>等の排出量削減に繋げる

# ZMP 契約とは？



# オンラインメンテナンス

29年前から「IoT」を活用したハイテクサービスで高い収益性を維持



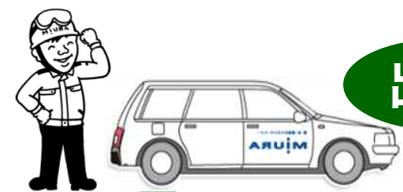
遠隔監視で状況確認

監視

ユーザー

対処方法を電話連絡  
(データ収集・解析)

オンライン管理缶数  
約 62,000台  
※ボイラ以外の機器も含む  
(2018年11月末現在)



出向

現場に行かない → 故障の原因がわかる → 事前準備出来る → 早期回復

1人当りの管理缶数の増加、効率的メンテ、メンテナンス員を3K（危険・汚い・きつい）から解放

# ボイラのライフサイクルとミウラのビジネスモデル

製品の売切ではなく、納品後の保守売上、消耗品売上が継続する

ボイラの寿命を15年とした場合



製品への信頼  
+  
顔の見える安心

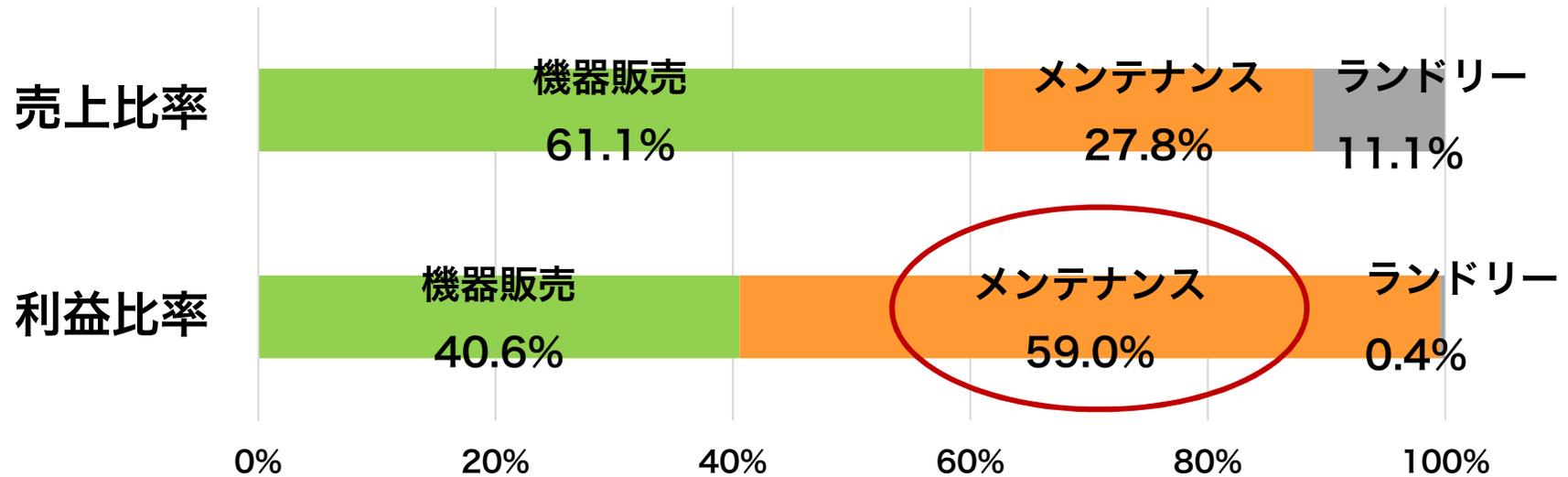
景気などの変化からの影響なし

ボイラ外商品の販売

ユーザーとの善循環が生まれる

## 利益率の高いメンテナンス事業

\*2018年3月期 ミウラグループ全体



## ミウラメンテナンス ネットワーク

拠点数

約100ヶ所

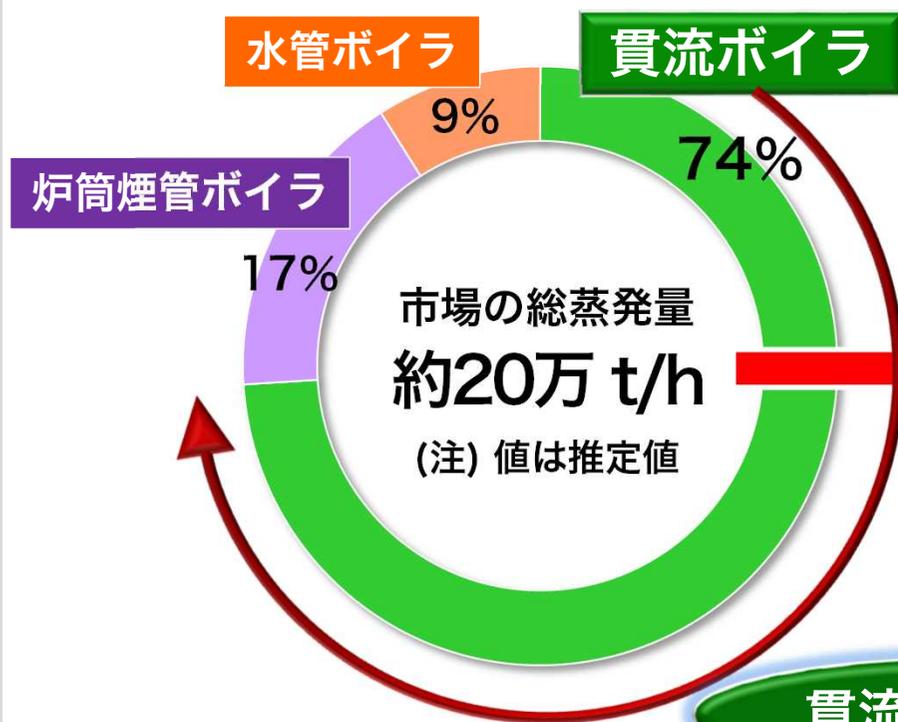
サービスエンジニア

約1,100名

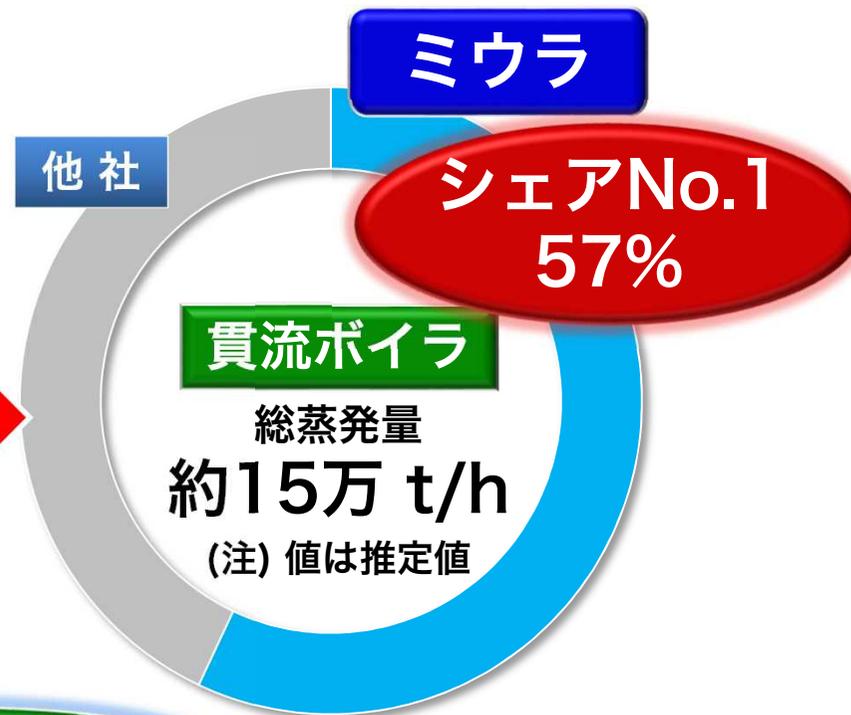


国内の業界シェア ※発電用を除く・2017年9月自社調べ

国内のボイラ市場



国内の貫流ボイラ市場



主な競合メーカー

(株)日本サーモエナー  
(株)サムソン

(株)IHI汎用ボイラ  
川重冷熱工業(株)

(株)ヒラカワ  
(株)よしみね

(注) 貫流ボイラのシェアは、当社の独自調査に基づくものであり、実際の値とは異なる可能性があります。

# 成熟しつつある国内市場で何を提案していくか？



**ボイラ外商品**

- 水処理装置
- 食品機器
- 医療用機器
- ランドリー

**船用機器**

- 船用ボイラ
- バラスト水処理装置

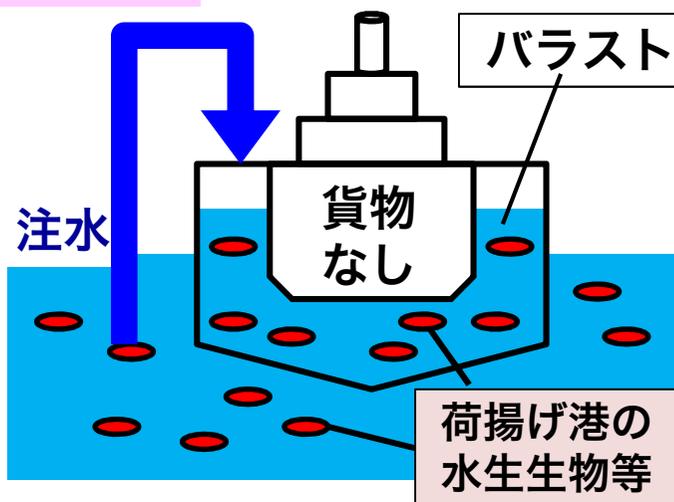
# 食品工場における食品機械トータルソリューション



# バラスト水問題「新しい市場の誕生」

バラスト水とは  
荷物を積んでいない船を安定させるために、船内のタンクへ取り込まれる水

荷揚げ港

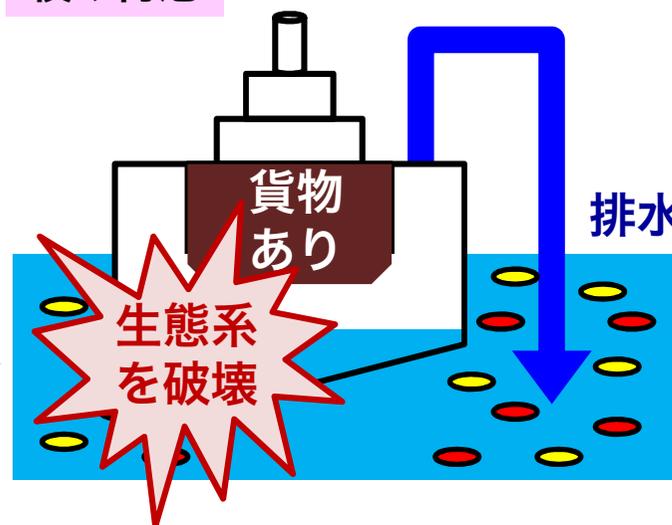


航海

年間30~40億  
トンの  
海水が移動

積み荷港

国土交通省発行資料より



「荷揚げ港」から  
「積み荷港」への  
水生生物等  
の移動

生態系破壊  
の  
環境問題

バラスト水管理条約（2004年採択）  
→バラスト水処理処置の搭載 義務化

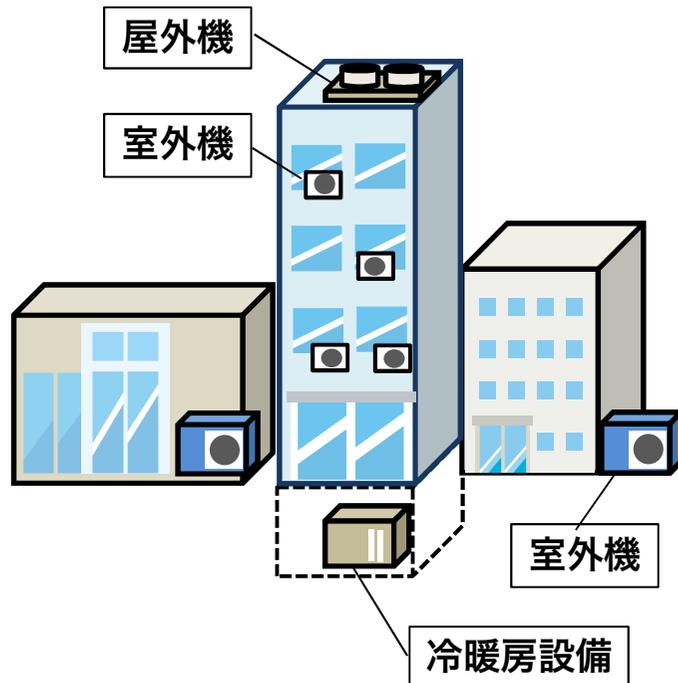
2017年9月 義務化  新造船

2019年9月 義務化  既存船

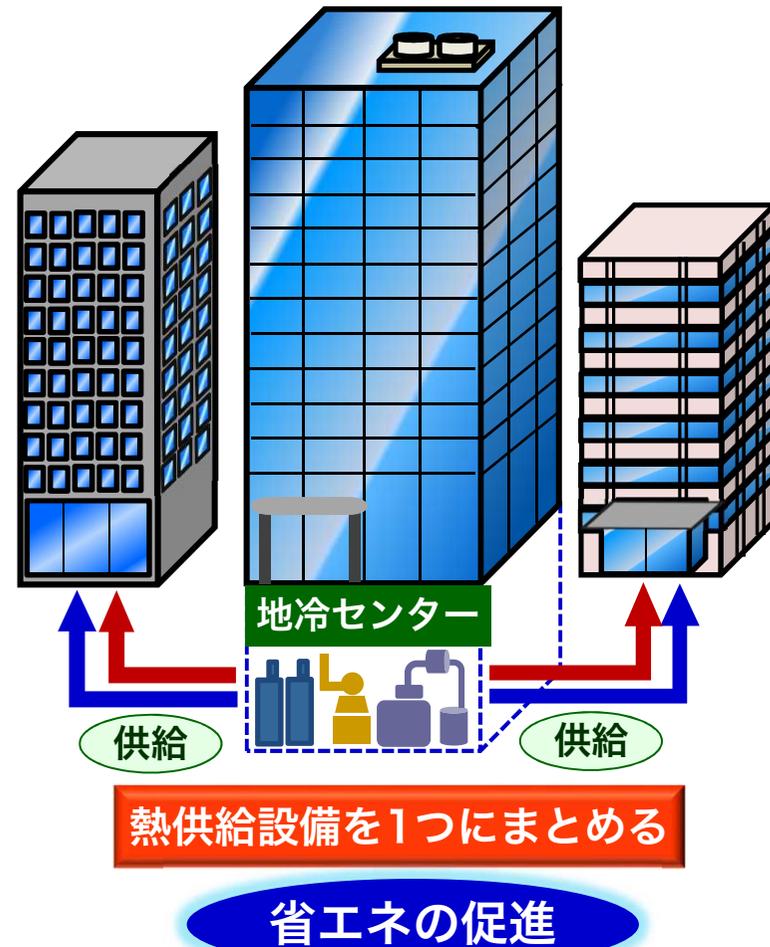
# 地域冷暖房システム（地冷）とは？

ビル、商業施設、マンションなど地域内の建物へまとめて冷暖房や給湯を行うシステム

## 一般的な建物別冷暖房方式

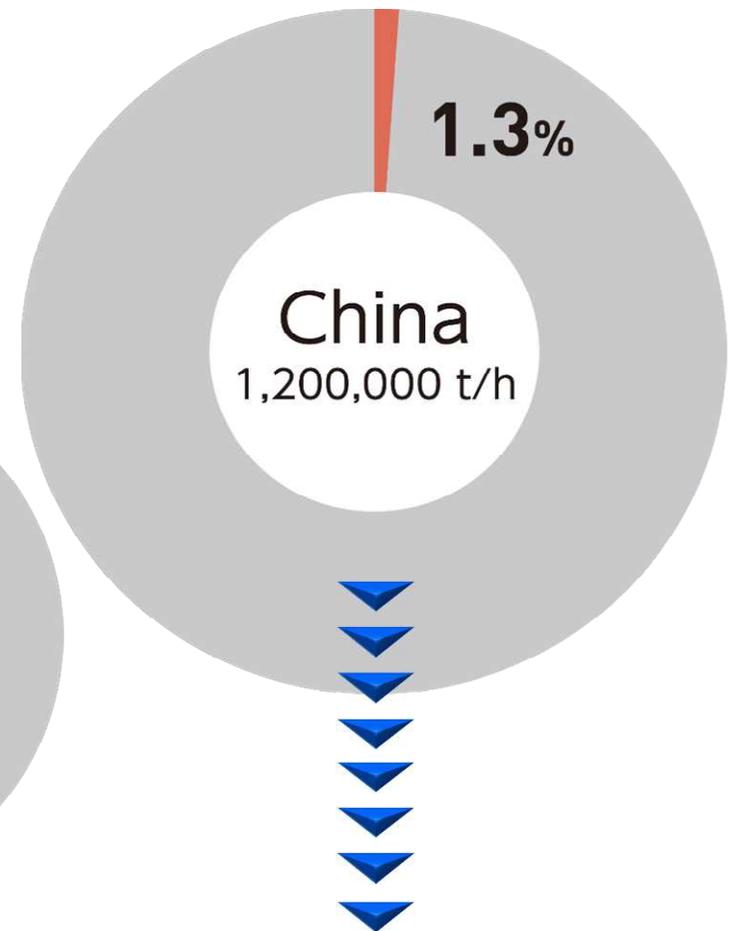
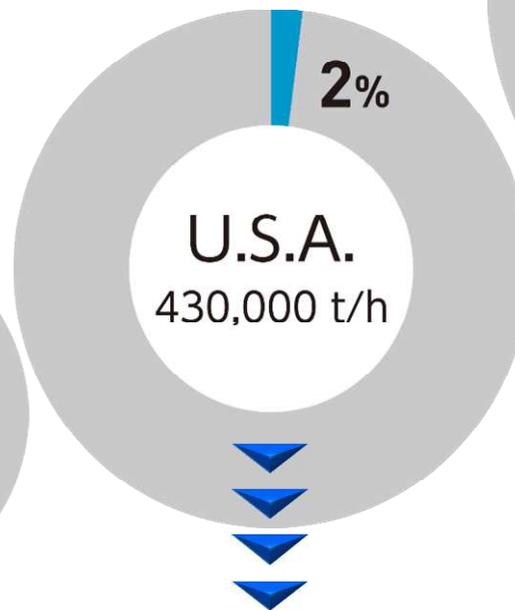
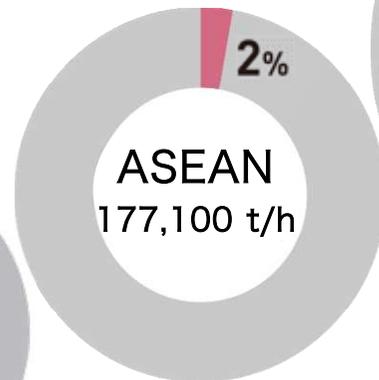
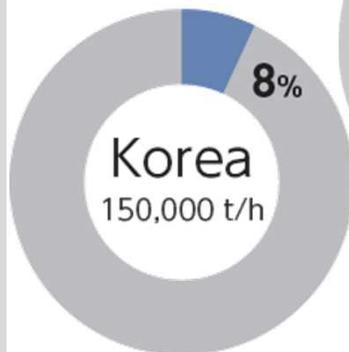
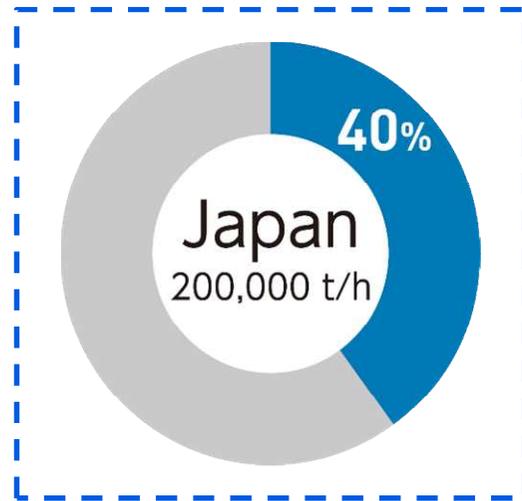


## 地域冷暖房方式



# ボイラ市場（ミウラの市場占有率）

\*蒸発量ベース・2018年3月自社調べ

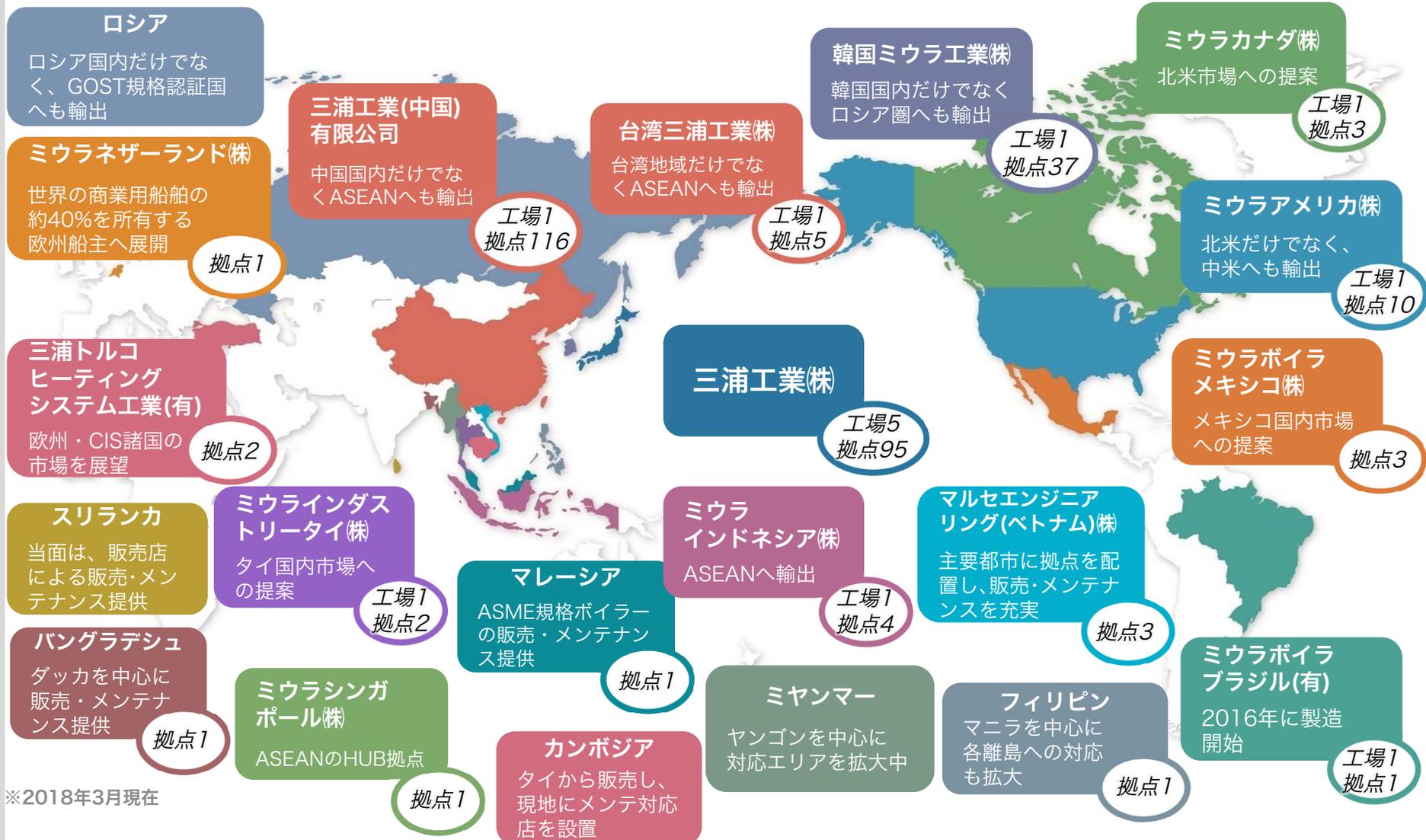


低効率大容量ボイラが主流

石炭焼きボイラが8割

急速なガス化

## ミウラのネットワーク



※2018年3月現在

今後の展望

ガス→ガス入替の推進

	石炭焚き	→	安い炉筒ボイラに入替	→	ミウラの貫流ボイラ
事例： ダンボール 原紙製造 工場	<p>石炭禁止</p> 	 <p>効率が悪く、 ガス代が高い</p>	<p>燃料代が圧迫して、薄利多売の経営ではやっていけないぞ!</p> 		
年間燃料代	500万元		1,300万元		1,065万元

2.6倍

2.13倍

効率、性能の良さで他社と差別化

このような良い事例が同地域・同業界の次の物件へ繋がる

# 今後の課題

## 人材育成

1年後

会社理念、戦略の理解

ボイラー基礎、原理、  
生産過程の理解

制度、文化を理解し、  
三浦へ定着

2年後

技術の習得

日本からの  
サポート

3年後

即戦力として活躍



## 提案営業

### 日誌分析

ボイラー日誌から、運転時間、  
給水量、燃料使用量等を解析

### 負荷分析

負荷分析器を設置し、更に  
細かい蒸気負荷変動を把握



最適なボイラ  
システムを提案

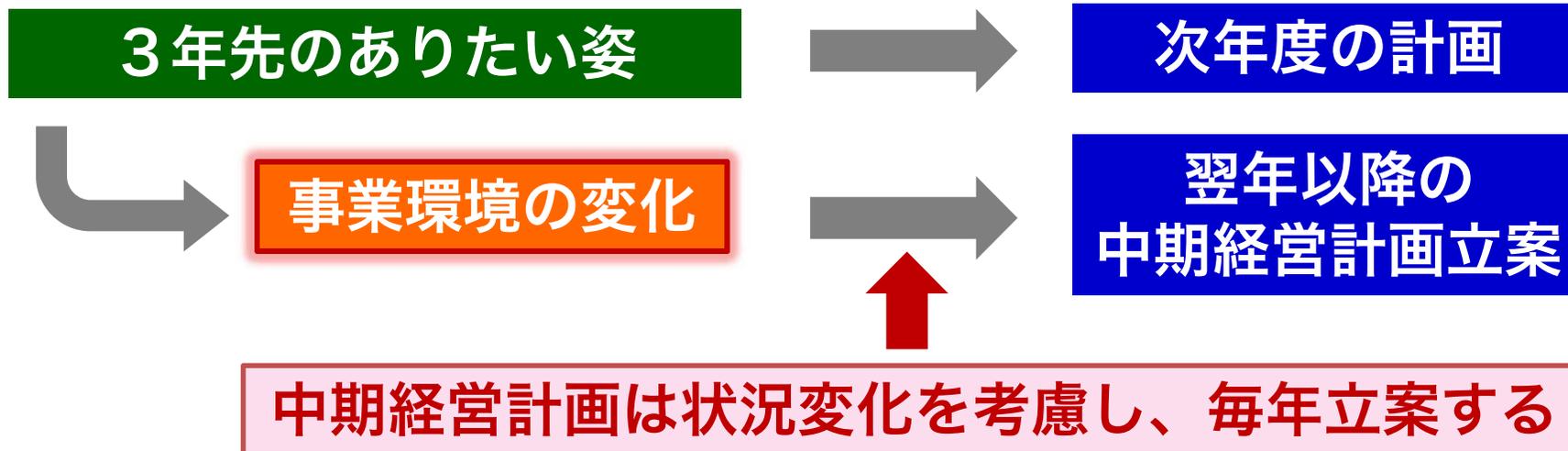


## 他社との差別化

日本製品の品質  
+  
ビフォアメンテナ  
ンスの重要性をPR



## 中期経営計画の考え方



### ローリング方式

事業環境の変化等を考慮して毎年ローリングする方式

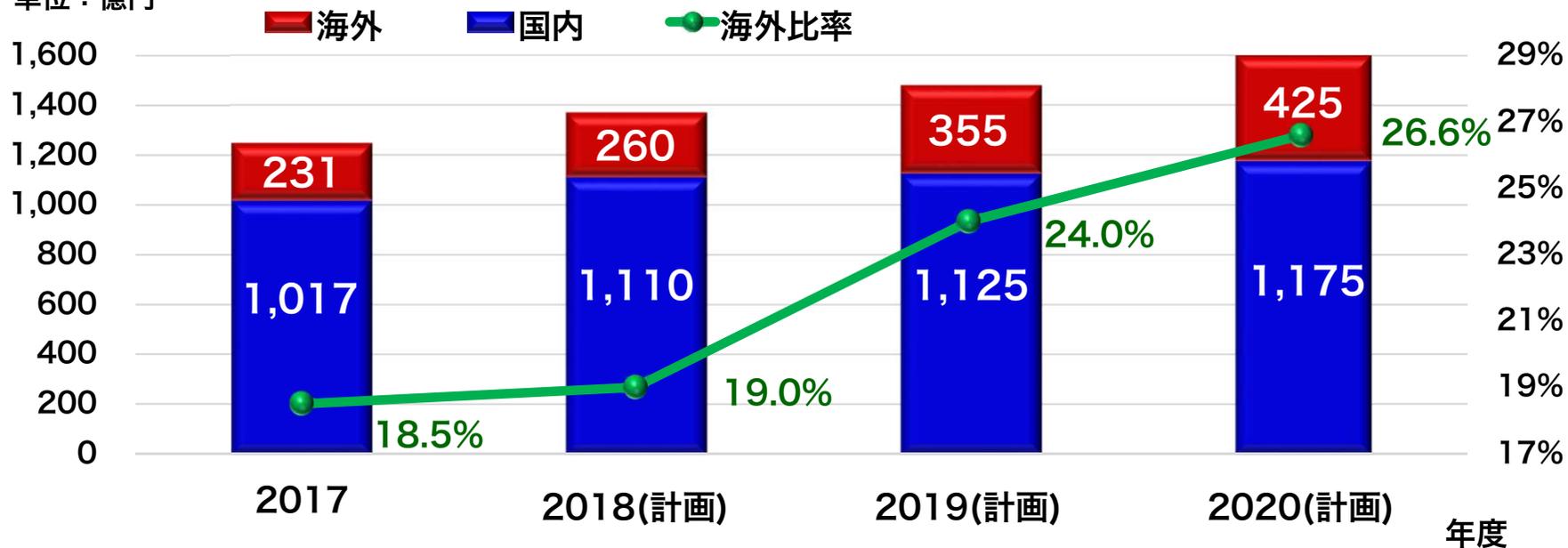
	FY 2016	FY 2017	FY 2018	FY 2019	FY 2020
中期経営計画 2016	2016-2018				
中期経営計画 2017		2017-2019			
中期経営計画 2018			2018-2020		

## 概要

単位：億円

	2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 計画	2020年度 計画
売上収益	1,248	1,370	1,480	1,600
営業利益	138	152	165	180
営業利益率	11.1%	11.1%	11.1%	11.3%

単位：億円



## 2018年度 年間計画の修正

単位：億円

		2017年度 実績	2018年度 計画	2018年度 (修正後)	差額
国内	ボイラ	588	594	609	+15
	アクア(水処理機器)	29	35	35	
	船用	86	90	100	+10
	食機・メディカル	104	106	106	
	ランドリー	139	170	190	+20
	その他(特機・新事業開発・環境等)	71	70	70	
小計		1,017	1,065	1,110	+45
海外	米州(アメリカ・カナダ・ブラジル)	44	45	45	
	韓国	69	70	70	
	中国	83	130	100	-30
	アセアン・台湾	35	40	45	+5
	小計	231	285	260	-25
合計		1,248	1,350	1,370	+20

# 資本政策の基本方針

当社グループは、財務の健全性を担保した上で、中長期的な企業価値を向上させるため、資本政策の基本方針を以下のように定めます。

### 「資本効率の向上」

いかなる市場環境のもとでも利益を着実に拡大していくことが、企業価値の増大と株主利益の向上につながるものと考え、株主資本利益率（ROE）10%以上を安定的に達成することを目標として取り組んでまいります。

### 「持続的・安定的な株主還元」

安定的な配当の継続を基本に、会社の業績に応じた適正な利益還元を行うことが望ましいと考えております。この方針に従って、連結配当性向30%を目処として連結業績や財務状況等を総合的に勘案しながら、配当水準の向上に努めてまいります。

## 中長期的な経営戦略

### 国内戦略

#### ① トータルソリューション

- ・ ミウラの製品で、工場全体のエネルギー効率の向上を図り、オールミウラのワンストップ・メンテナンスを実現する



#### ② バラスト水処理装置

- ・ USCGの型式認証取得
- ・ ボイラで培った技術力、メンテナンス力、お客様との信頼関係を活かし、優位に立つ



### 海外戦略

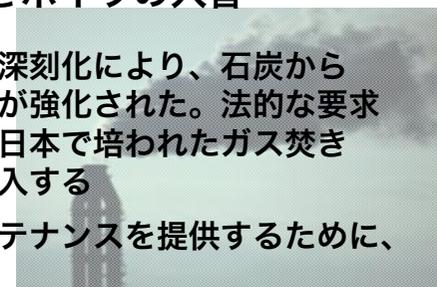
#### ① 日本ビジネスモデルの水平展開

- ・ MIシステムのメリットを省エネ提案する
- ・ 納入実績を重ね、ミウラボイラの世界展開をはかる



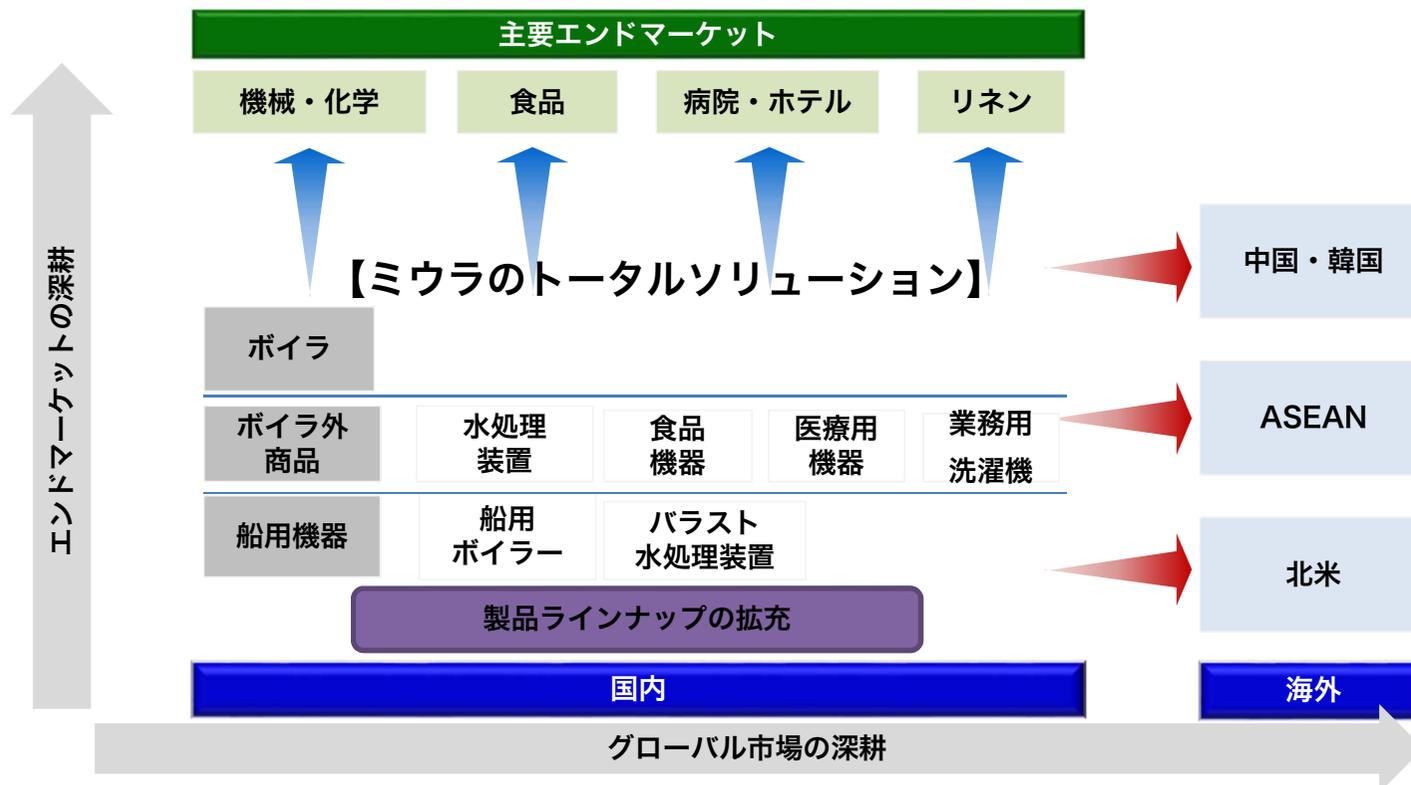
#### ② 中国の石炭焼きボイラの入替

- ・ 中国の大気汚染の深刻化により、石炭からガス化へ法的規制が強化された。法的な要求に応えるために、日本で培われたガス焼きボイラの技術を導入する
- ・ 日本と同様のメンテナンスを提供するために、拠点展開をはかる



# 中長期的な経営戦略

製品ラインアップの拡充を実現し、主要エンドマーケット向けのソリューションを強化  
日本ビジネスモデルを水平展開し、海外市場の更なる深耕を目指す



熱・水・環境のベストパートナー

**MiURA**

問い合わせ先

三浦工業株式会社 経営企画室

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <http://www.miuraz.co.jp>